

総合製品カタログ

<https://www.astrostage.co.jp>



株式会社アストロステージ

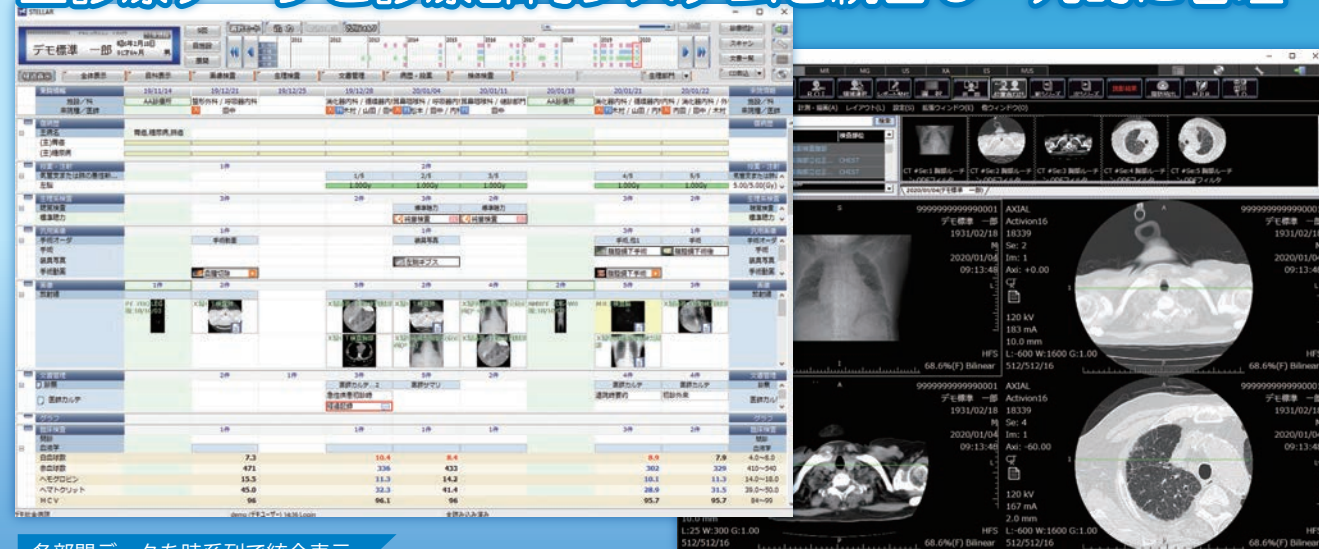
東京本社	〒101-0048	東京都千代田区神田司町 2-8-1 PMO 神田司町 5F	TEL : 03-5289-7740 / FAX : 03-5289-7742
札幌支社	〒060-0001	北海道札幌市中央区北 1 条西 3-2 井門札幌ビル 10F	TEL : 011-208-6980 / FAX : 011-208-6977
岩手支店	〒020-0034	岩手県盛岡市盛岡駅前通 15-19 盛岡フコク生命ビル 5F	TEL : 019-629-2221 / FAX : 019-629-2222
仙台支店	〒980-0013	宮城県仙台市青葉区花京院 1-1-6 EVER-i 仙台駅前ビル 501	TEL : 022-217-0506 / FAX : 022-217-0507
大阪支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原 4-3-39 大広新大阪ビル 3F	TEL : 06-6398-5200 / FAX : 06-6398-5225
愛媛支店	〒790-0005	愛媛県松山市花園町 3-21 朝日生命松山南堀端ビル 10F	TEL : 089-987-6102 / FAX : 089-987-6103
福岡支店	〒812-0016	福岡県福岡市博多区博多駅南 1-3-6 第 3 博多偕成ビル 406	TEL : 092-418-3020 / FAX : 092-418-3021
鹿児島支店	〒892-0846	鹿児島県鹿児島市加治屋町 15-9 大同生命鹿児島ビル 102	TEL : 099-216-8368 / FAX : 099-216-8369

For the future of healthcare

Contents

統合システム		
診療情報統合システム	STELLAR（ステラ）	4
ドキュメントスキャンシステム	Capella（カペラ）	6
汎用画像管理システム	Taurus（タウルス）	7
医用文書作成管理システム	Sophia Report（ソフィアレポート）	8
開封通知システム	開封通知 for Sophia Report（ソフィアレポート）	9
紹介状管理システム	Regulus（レグルス）	10
生体モニタ管理システム	Bio Atlas（バイオ・アトラス）	11
タイムスタンプサーバ	Canopus（カノープス）	12
カンファレンスシステム	Lupus（ループス）	12
地域連携システム		
地域連携システム	STELLAR NET（ステラネット）	13
医療機関向けグループウェア	Pyxis（ピクシス）	14
診療および検査予約システム	Atria（アトリア）	15
医用 SNS サーバ	Astro Talk（アストロトーク）	15
訪問診療支援システム	Iris（イリス）	16
産業医向け健康管理システム	Ophiuchus（オフェューカス）	17
放射線部門システム		
PACS	Nazca（ナスカ）	18
RIS	Nazca RIS（ナスカ RIS）	20
治療 RIS	Nazca RIS RT（ナスカ RIS RT）	21
循環器ネットワークシステム	Cardio Pictor（カーディオ・ピクター）	22
被ばく線量管理システム	Sagittarius（サジタリウス）	23
部門システム		
生理検査システム	Sirius（シリウス）	24
内視鏡検査システム	Aquila（アクイラ）	25
病理システム	Castor（カストル）	26
検体検査システム	Spica（スピカ）	27
巡回健診データ収集システム	Rigel（リゲル）	28
眼科電子カルテシステム	Lynx（リンクス）	29
耳鼻科電子カルテシステム	Silenus（シレノス）	29
ME 機器管理システム	Elnath（エルナト）	30
在庫管理システム	Libra（リブラ）	30
ツール		
画像キャプチャシステム	ARK Gate（アークゲート）	31
タブレット画像撮影ソフト	Ace Photo（エースフォト）	32
ユーザフォルダ	Antlia（アントリア）	32
CD デュプリケータシステム	Ace Writer（エースライター）	33
DICOM 変換ツール	Transfer Tool（トランスファーツール）	33
ASP		
遠隔読影支援システム	MIRAS α（ミラス・アルファ）	34

1つのシステム・1つのデータベースに、
全診療データと診療部門システムを統合し一元的に管理



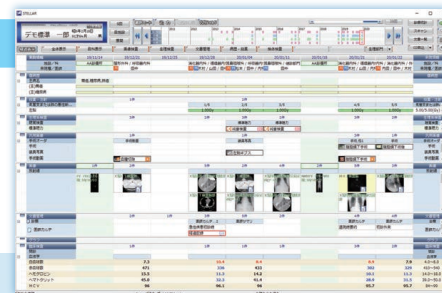
各部門データを時系列で統合表示

ビューアでDICOM画像の表示

STELLAR(ステラ)はリンクではなく診療情報を保有し一元的に管理ができる統合システムです。院内各部門の画像・数値・所見データだけではなく電子カルテのデータ含めて統合することで、部門システムをその都度開くことなく診療情報が一画面で閲覧可能になります。またデータの連携性が得られデータ統計や紹介状作成・メディア作成、チーム医療への応用ができます。

① 院内の全診療データを時系列で統合

STELLARは電子カルテ含め、全診療データを1つのデータベースで統合します。これらは患者単位で時系列に統合され、ユーザは全診療データを1クリックかつ1画面で参照することができます。

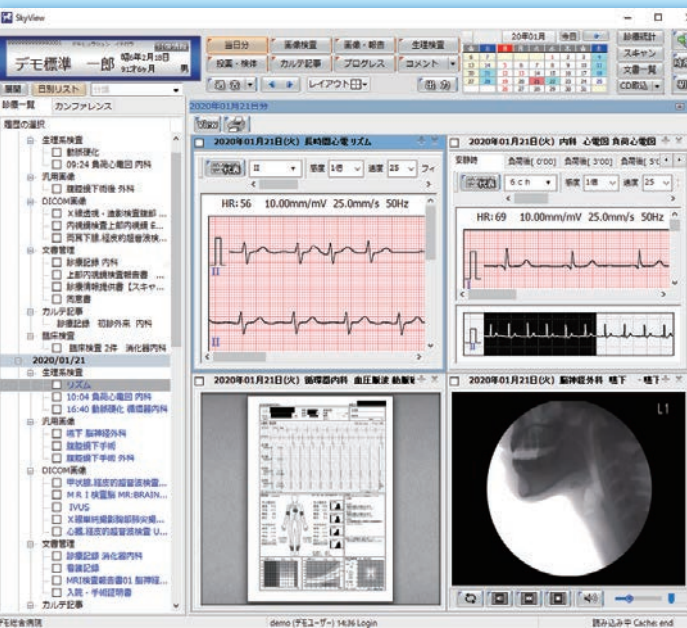


② STELLAR でビューアや文章管理機能を統一

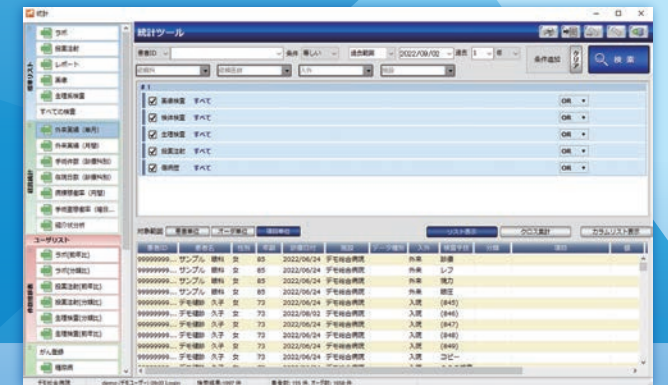
院内には画像システムだけでも多数存在し操作性や保存先もバラバラで1つの画面では参照が行えません。STELLARがあれば部門システムに依存せず操作性を統一し1つのビューアでデータ参照が実現できます。文章管理機能も同様に一元的に記載・管理ができます。

③ 部門問わず全診療データを紹介CDへ出力

紹介CDは部門を問わずSTELLARから直感的に選択したデータを一元的にSS-MIX2形式でCDに出力できます。紹介先ではDICOM画像の取り込みだけではなく、CDに簡易STELLARが同封させてるのでSTELLARが無くても全てのデータが閲覧できます。他院CD取り込みの際にはSTELLARの時系列に統合して表示もできます。



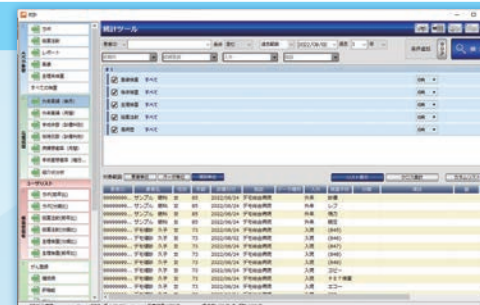
患者情報を一日単位で表示し、各種波形データにも対応



統計機能で患者情報を集計表示

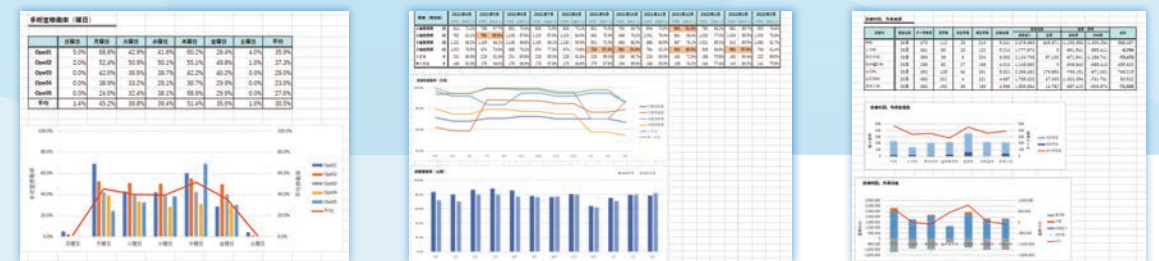
④ 統計機能で患者情報を集計

STELLARに保存されたデータを元に統計が作成できます。投薬、注射、各検査数・検体の数値・レポートや画像データのコメントに至るまで統計の対象にできます。例えば、年間件数を月単位で表示する場合や、前年度と比較し分類構成比率を確認することができます。また、クロス集計で項目別に月別件数の集計表示もできます。

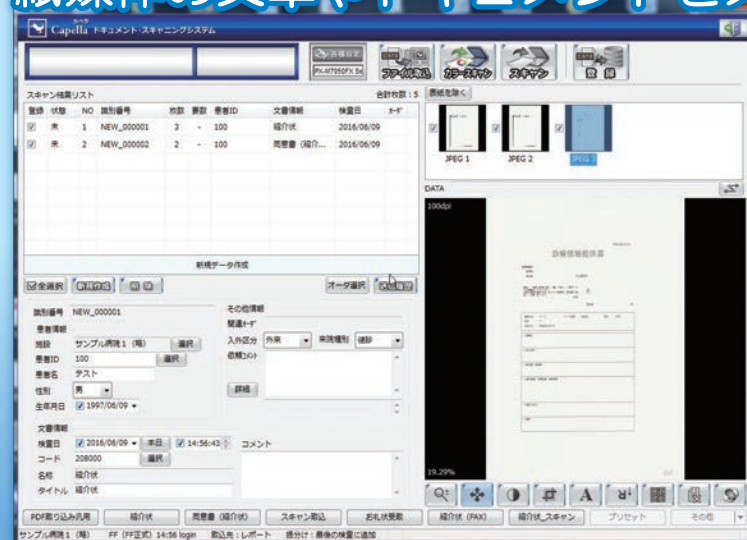


⑤ DWH 機能も実現

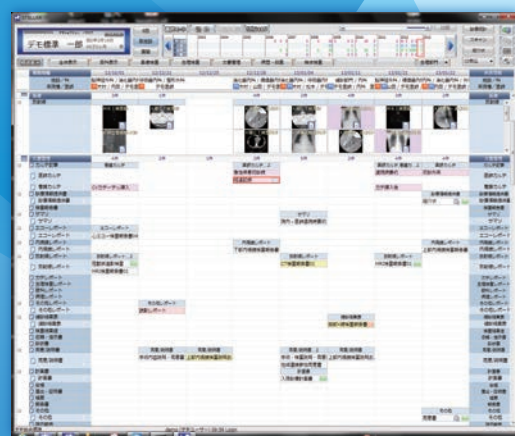
医事も含めたデータを検索・抽出し経営分析資料の作成ができます。経営分析情報の例として外来実績、平均在院日数、手術室稼働率、診療科別手術件数、病棟稼働率など多様な統計を実現します。



院内に点在する診療情報に関する
紙媒体の文章やドキュメントをスキャンし一元的に管理



文書をスキャンしてサーバで自動整理

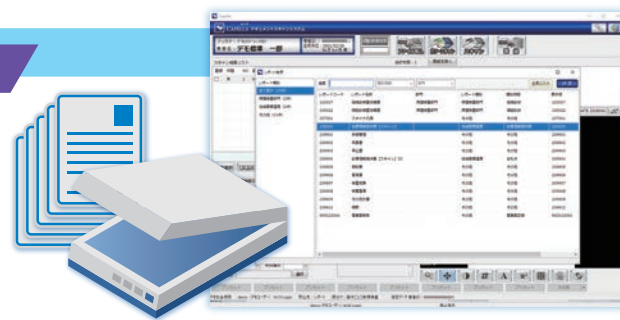


文書種類選択で簡単スキャン

Capella（カペラ）は院内の様々な文書を場所を選ばずスキャンすることで一元的に文書を管理できます。1次元・2次元のバーコードの自動認識が行え、STELLAR上で自動的に整理されます。加えて、主治医などへ開封確認依頼を設定できます。また電子カルテ等のオーダとも連携ができ、スキャンの進捗管理が行えます。

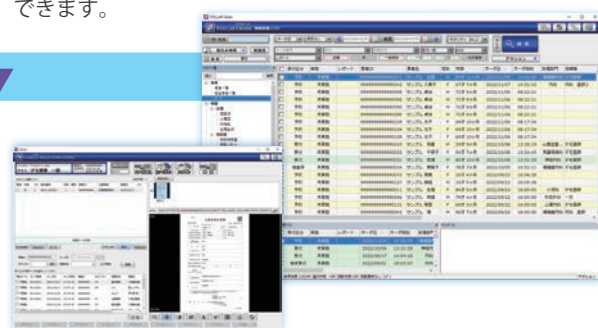
① 専用画面で効率スキャン業務

患者選択した状態で、スキャン後に任意で設定されたボタンを押下するだけで、簡単に登録ができます。単なるスキャンだけでなく、開封依頼やコメント・キーワードなども登録ができ、検索をすることができます。



② バーコードの自動認証

バーコードは1次元、2次元共に自動認識できます。文書にバーコードが無い場合でも台紙を文書の種類ごとに挟み、複数の文書を一度にスキャンすることで、一度に取り込めます。スキャナーはTWAIN対応機種であれば既存のスキャナーを利用でき、ライセンスフリーなので院内どこでもスキャンできます。



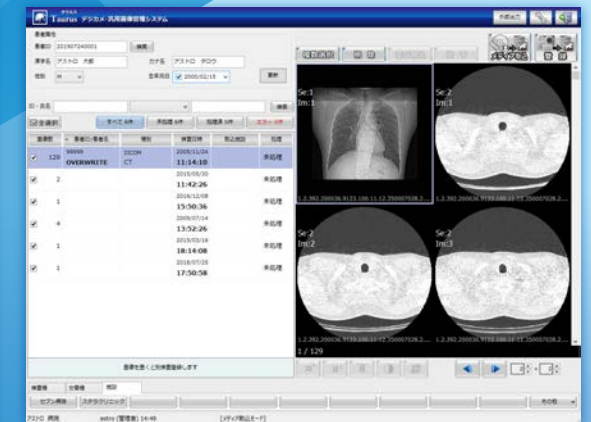
③ カルテのオーダ連携とスキャンの進捗管理

電子カルテからのオーダも取込み、オーダに対するスキャンが行えます。これにより検査としてのスキャン取込みやスキャン状態の進捗なども管理できます。また、オプションとしてOCR機能があり、スキャンした文書を文字データ化し入力作業の効率化や文字の検索を実現します。

各部署に個別に保存されている
各種の汎用画像や動画像を一元管理できるシステム



汎用画像・動画像を一元管理

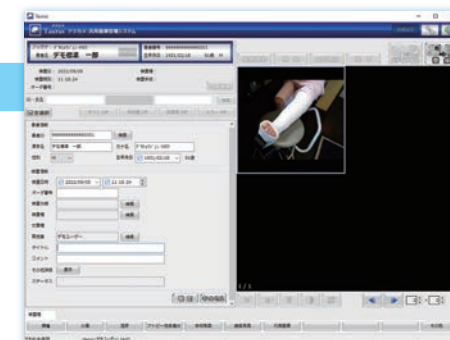


付帯情報としてコメントやキーワードも登録可能

Taurus（タウルス）は、デジタルカメラで撮影した汎用画像や動画像を取り込み一元管理できるシステムです。各部署に保存された、管理が必要な診療データ等をデータベース化することで褥瘡やリハビリの経過観測が時系列で可視化します。

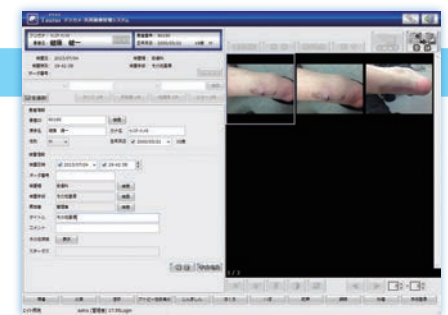
① 専用画面で効率的にデータベース化

専用画面で画像を取り込むだけでなく、分類や部署の情報を付加することができます。コメントやキーワードなども付帯情報として登録できデータ活用のできる管理を実現します。



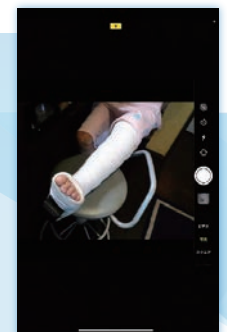
② 検査種と紹介施設を簡単に登録

患者選択した状態であれば、データ取込後に任意で設定されたボタンを押下するだけで、検査種が簡単に登録できます。他院メディアの取込時ではデータ全てに検査種を設定すると、ボタンが自動で切り替わり取込元の施設がボタン押下だけで登録できます。

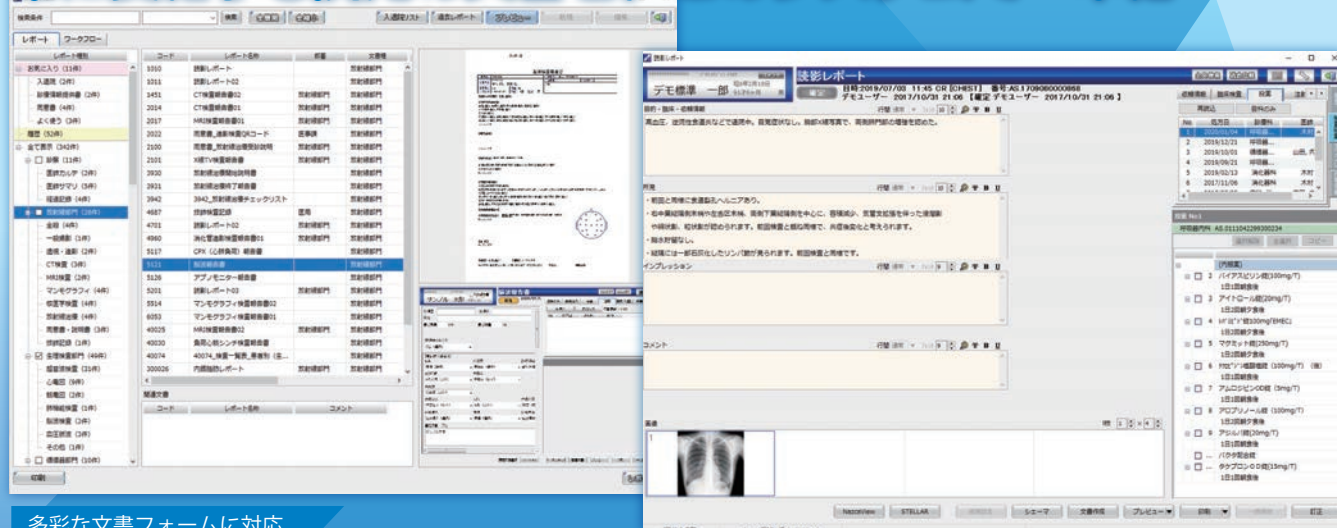


③ フォルダ自動連携、タブレットにも対応

外部メモリや指定されたフォルダを監視しデータが追加されると自動で読み込むことができます。オーダ連携を行うことで特定の検査画像として取込みもできます。オプションとしてタブレットで撮影しサーバへ送信することもできます。



あらゆる文書のフォーム作成と入力を実現 常に変化する院内の文書を、このシステムで一本化



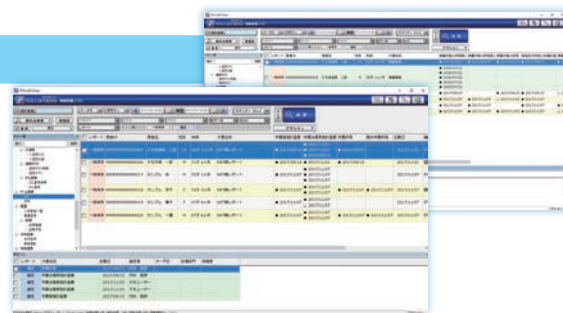
多彩な文書フォームに対応

各部門で必要となる特殊なレポートフォームにも対応

Sophia Report（ソフィアレポート）は今まで部門ごとに管理されていた文書管理システムを統一します。システムをまとめるだけでなく、ユーザによるフォーム作成機能からチーム医療のワークフロー、各部門の複雑なレポート機能まで幅広くサポートします。ドキュメント作成機能では Excel から自動でフォームを読み込み、簡単な操作で作成ができます。

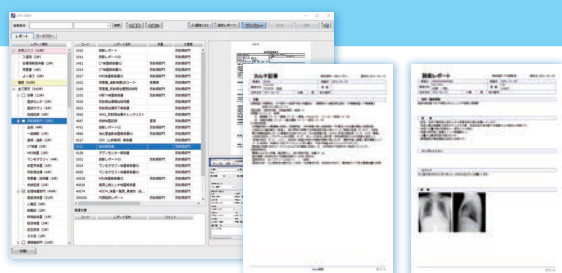
① チーム医療の文書管理に貢献

チーム医療のワークフローにも対応しております。NST、RST、褥瘡等のワークフローや評価シート、また看護支援・入退院支援などチーム別に文章をまとめられます。記載が必要な文章一覧が患者別でリスト化されており、未記載であれば色を付けるなど自由に条件が設定でき、記載状況が一目で分かります。



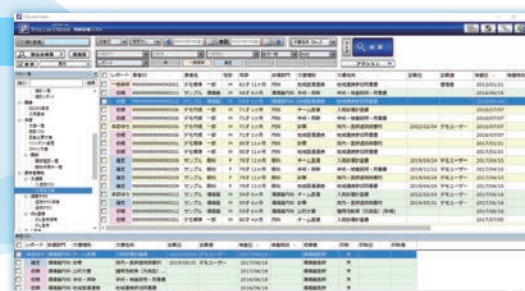
② カルテ等の診療情報をリアルタイムに反映

電子カルテなどの投薬情報、病歴、処方などのデータはテンプレートとして利用可能です。またビューア上で計測した数値、エコー機や治療装置などのモダリティから取得した数値情報もリアルタイムにレポートに反映できます。

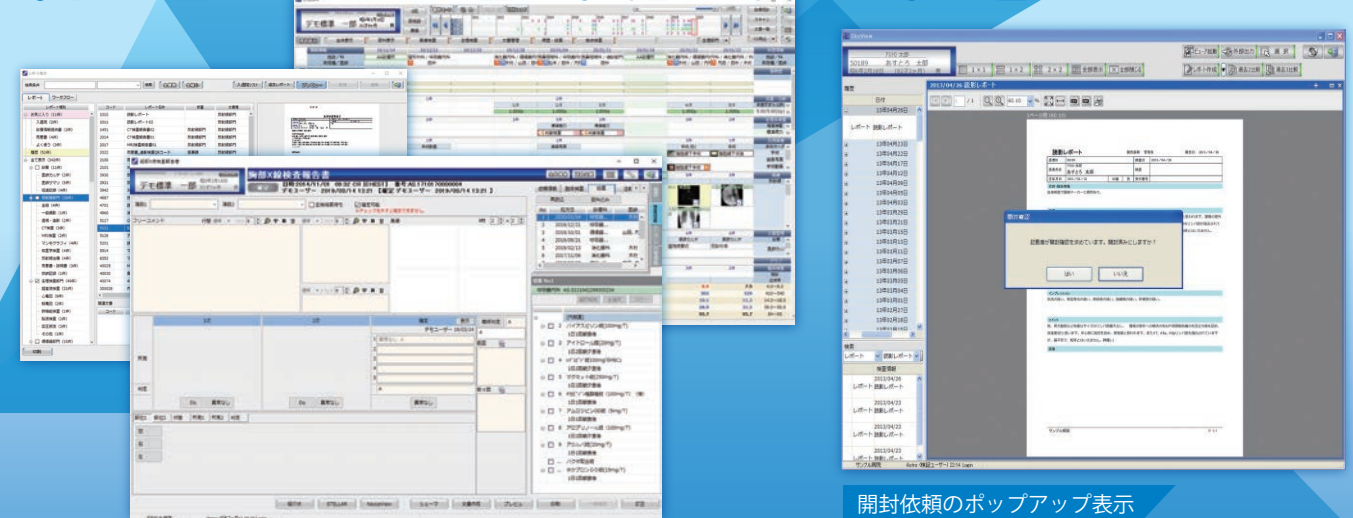


③ ワークフロー作成管理と記載依頼

入退院支援に必要な関連文書だけではなく、ワークフローにおける文書の管理を一面で実現します。関連文書をセットリスト化し、記載状況を作成日順に確認できます。また、同意書は同一画面からスキャン画面を起動し取り込むことができます。さらに、記載依頼ボタンからドクターへ記載依頼の通知が行えます。



画像診断報告書の見落としを防止 未読文書は主治医を含め、指定した医師に通知



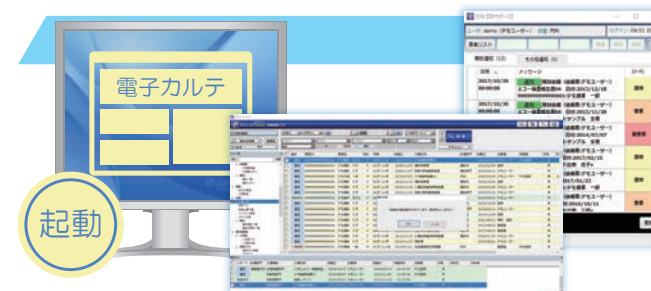
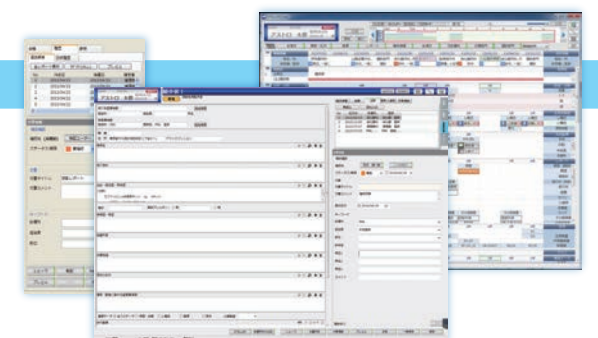
開封依頼のポップアップ表示

STELLAR と連動して文書作成から開封通知、既読管理までを一連サポート

開封通知は、単に参照確認だけではなく、重要診断などの場合は主治医に通知を行い、報告書の確認を促せるシステムです。診療文書の電子化が進み報告書の未読の状態が非常に増えたと言われており、昨今では未読による事故も多く指摘されている状況で、参照確認の仕組みが必要になってきたため、統合ビューアと連動し、文書作成から開封通知、既読管理までを一連でサポートします。

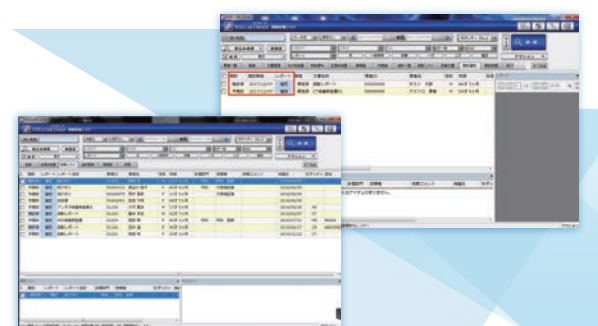
① 文書の開封依頼

文書記載時、スキャン取り込み時、他システムからの開封通知など一元的に開封依頼を管理し、通知をすることができます。当社システム内では、相手と内容を選択して保存するだけで通知が行え、オーダ医や所属部署、指定医師など細かく設定することができ、STELLAR の時系列画面上でも未読文書の確認ができます。



② 開封依頼の確認リスト

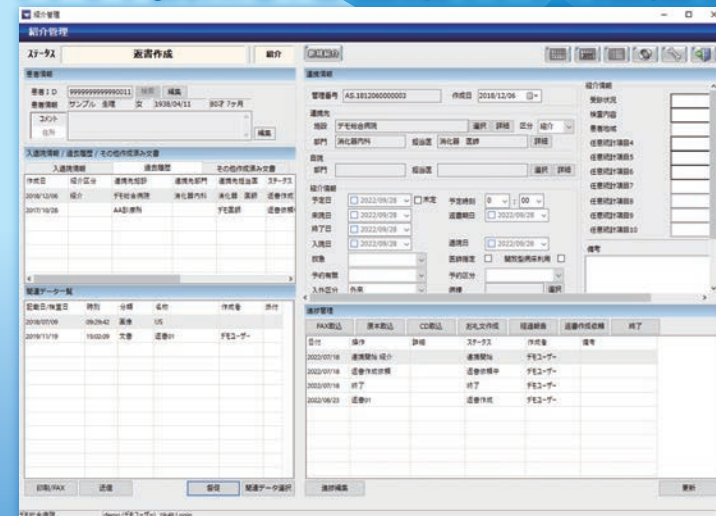
開封依頼は電子カルテまたは STELLAR (ステラ) を起動することで、確認用のポップアップランチャーが表示することができます。色分けをすることで分かりやすく重要度を可視化し、開封依頼の一覧から直接所見レポートをクリックすることで開封済みとなり閲覧をすることができます。



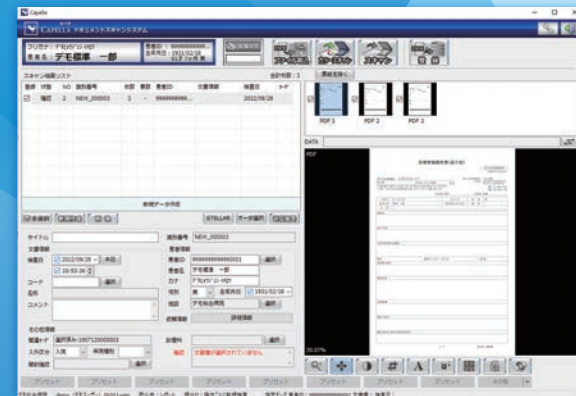
③ 開封状況進捗の確認

開封リストから開封状況の確認がリアルタイムで行えます。複数の開封確認も同一リストからでき、未開封一覧と開封済み一覧の管理が可能です。また、配信されている任意の開封依頼の開封状況を当該医師の代わりに確認することも可能です。

紹介状の作成から逆紹介、返書の作成依頼管理、FAX 機による自動 FAX 送信までを実現



患者単位の管理が可能

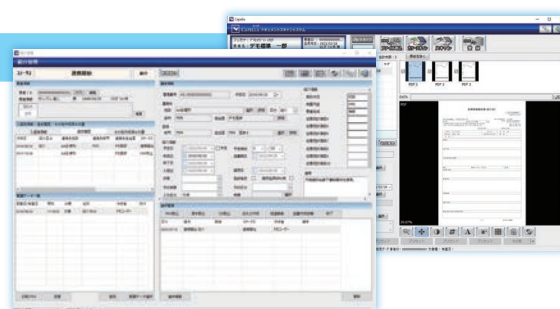


紹介状をスキャン

Regulus(レグルス)は地域連携室の各種業務をこの製品1つで行えるように設計されたシステムです。紹介状のスキニング・CDからの取り込みから、相手先への状況報告、それらの文書をFAX機で自動送信することが可能です。また、ドクターの返書作成の管理までをトータルでサポートします。

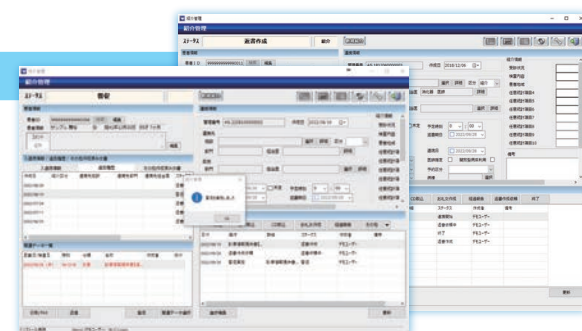
① 紹介状をステータスで管理し統計も実装

取り込んだ各書面はリスト表示され、患者単位にどのような取りがされたか日付やステータスで明確に管理ができます。また、入退院情報・過去履歴・関連文章一覧も同一画面で確認でき、施設別・内容別など統計が作成できます。



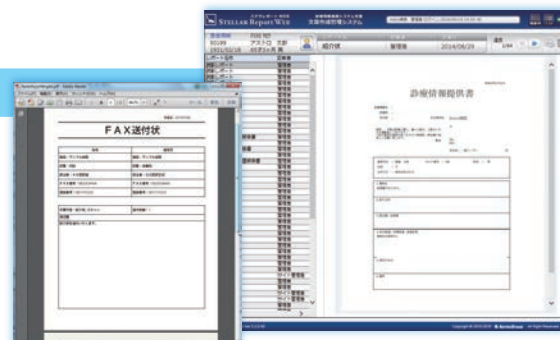
② ドクターへの督促機能まで実装

返書の作成依頼から進捗管理からドクターへの診療情報提供書の依頼通知など行えます。進捗状況をリアルタイムにリスト上で管理することで、診療情報提供書の作成が遅れている場合には督促通知が行えます。



③ 逆紹介先や紹介先へのお礼文機能

CD作成や日々の進捗を専用リストで管理するだけでなく、紹介先へのお礼文や経過報告は連携室からでも作成が可能です。FAX機による自動FAX送信機能にも対応しており、簡易作成と共に文面をPC上からFAXが行えます。



生体情報モニタの集中管理システム



生体モニタの集中表示



検体検査の時系列表示



経過表示モード



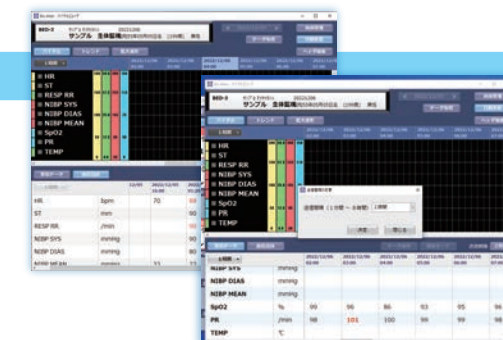
血液ガス検査結果表示

STELLAR との連携も可能

BioAtlas(バイオアトラス)はバイタルデータを管理出来るシステムです。生体監視モニタと連携しデータを取得し、バイタルデータをリアルタイムでグラフィカルに表示・管理が可能です。

① 生体情報モニタの様々な表示機能

各生体モニタの情報をリアルタイムに集約し、病棟上で一括で表示管理をします。基本のバイタルグラフ表示のほかに、単位時間中の最大値と最小値を時系列で表示するトレンドグラフ表示、選択された項目のグラフを拡大して表示する拡大波形表示を用意しています。



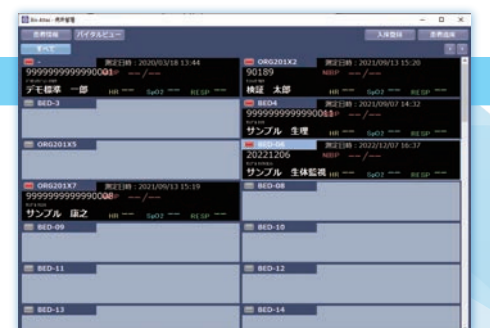
バイタルグラフ表示

トレンドグラフ表示

拡大波形表示

② 自在にデータ取り込みタイミングを設定

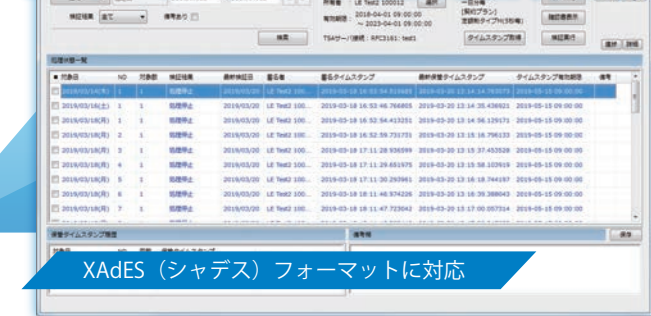
1時間単位で取得している場合でも、途中から1分単位に変更し選択した時刻をピンポイントに取り込むことができます。また、ボタン押下でその瞬間のデータを取り込みます。取り込んだ結果は時系列に並べて表示され、個別で数値を編集することもできます。



③ 自動的に転床処理を行える

病棟、ベッド移動を行った際には自動的にデータベースから最新の転床情報(病棟、病室)等の情報を取得します。転床情報を元に、転床先の生体情報モニタと患者が紐づけられます。また、患者リスト上で転床元から転床先へ患者をドラッグアンドドロップしても紐づけができます。

タイムスタンプ証明書作成からデータ長期間保証まで対応



Canopus（カノープス）はe-文書法における作成、電子化、利用、保存、破棄まで対応したタイムスタンプです。XAdES（シャデス）フォーマットに対応しており、電子文書に改ざんがないことを長期に渡り証明します。院内のペーパーレス化を進め増える書類、限られた保管スペースの問題を解決します。

XAdES（シャデス）フォーマットに対応

※標準 JIS X5093「XML 署名利用電子署名の長期署名プロファイル」に準拠した形式です。

① 文書の更新や改ざんのチェック

定期的な自動チェックの他、必要時点での個別チェックも行え、紛失や変更があればファイルを特定することもできます。また、他システムからの連携レポートも原本管理ができます。

② 長期間保証

電子署名とタイムスタンプを組み合わせ、長期間の証拠能力を維持します。「JIS X 5093 XML 署名利用電子署名 (XAdES) の長期署名プロファイル」に準拠しているため、安心して長期間ご利用いただけます。



部門の枠を超えて情報を共有できるカンファレンスおよび症例登録システム

Lupus（ループス）は通常のカンファレンスシステムとは異なり、登録できるデータはDICOM データはもちろんのこと、その他にも汎用画像、文書、PDF、検査データ、ワードやエクセルなどのオフィスデータ等も登録管理が行えます。これらを症例毎に登録でき、様々なデータを同一画面から参照しながらカンファレンスが行えます。

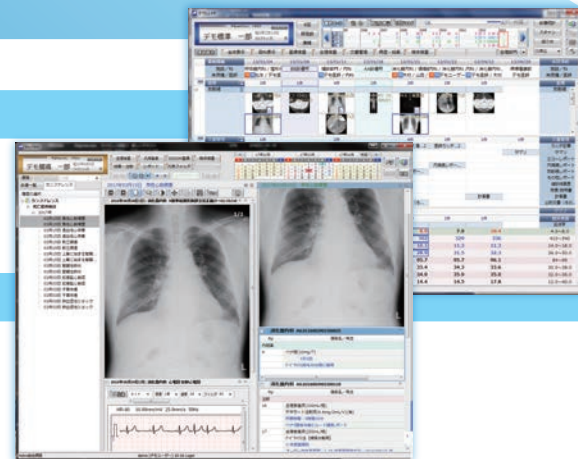
ビューアから1操作で簡単カンファレンス登録

① 各アプリからカンファレンス登録が可能

ビューアやリストなどのデータ参照を行う様々なアプリからその場でカンファレンス登録が可能です。登録したデータは症例毎に連動して情報をまとめられます。

② 多彩な参照モード

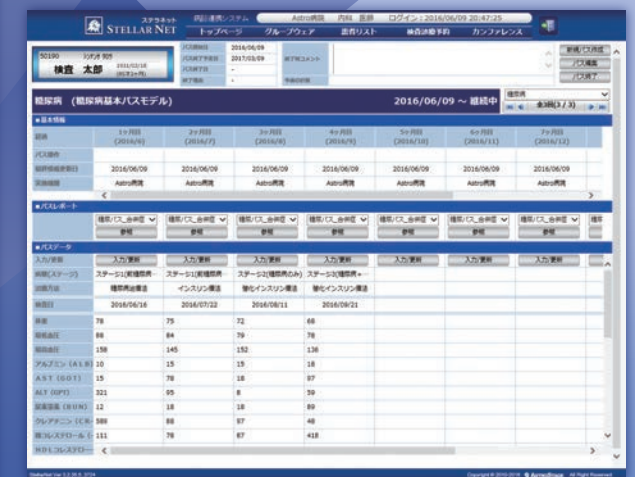
症例データで絞り込みを行い、他のカンファレンスと現在のカンファレンスをマルチフレームで並べて確認、比較が行えます。また、検査件数やデータ活用としてデータ抽出も可能です。



地域連携および病診連携システムで多くの実績、電子カルテを超える診療情報の共有



ポータル画面

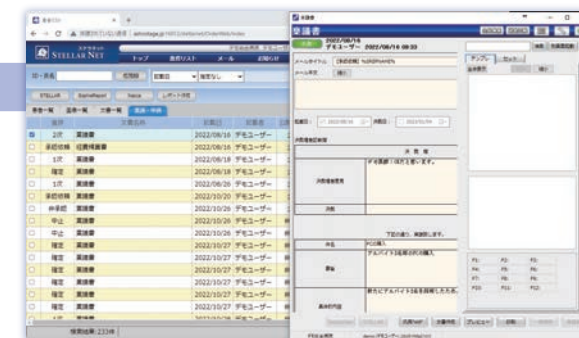


地域連携クリティカルパス

地域連携システム STELLAR NET（ステラネット）は、単なる診療情報の WEB 公開だけではなく「地域連携パス」や外部からの「検査・診療の予約・受付」を併せて行える、地域医療連携に必要な機能をトータル的にもつシステムです。病院ごとのシステムに依存しない「病診間をオープンに連携できる」自由度の高いシステムとなっているため、院内の診療情報の共有からその診療情報の地域での共有化までを実現します。

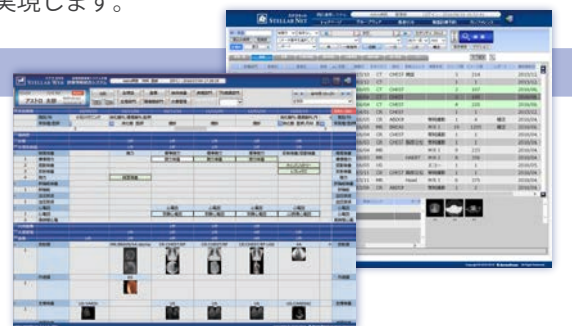
① WEB ビューア

診療情報統合システム STELLAR（ステラ）で取寄せた電子カルテや各部門の画像を含めた全ての診療データを WEB 上で閲覧でき、表示方法も DICOM ビューア から時系列表示、マトリックス表示と用途に合せた仕様が可能です。



② コミュニケーション円滑化

メール・スケジュール・ファイル共有などのオプション機能があり、地域医療のコミュニケーションを円滑化することで、病病・病診の地域医療連携を総合的にサポートします。



③ 病診連携クリティカルパスシステム

特定疾患患者の連携を行う地域連携クリティカルパスシステムは様々な連携パスと対応しております。紹介状などもまとめて、WEB 画面上に公開が行え、患者の引継ぎから当該施設への連携が簡単な入力とクリック操作で行えます。





ピクシス
Pyxis

医療機関向けグループウェア

医療機関特有のお知らせ・設備予約・勤怠管理までサポートするグループウェアシステム



グループウェアの電子会議室画面

会議室や機器の貸し出しスケジュールも管理可能

Pyxis（ピクシス）は医療機関に特化したグループウェアです。電子会議室機能では、電子会議の開催、議事録の押印から承認、公開範囲設定ができます。ドキュメント管理では、個人・共有フォルダへのファイル保存とドキュメント表示ができ、設備予約機能では、会議室の使用状況や機器・備品等の貸出管理をカレンダーで表示できます。他にも時間外勤務の把握など、勤怠管理や研修医のスケジュール登録・確認・管理までトータルにサポートします。

医療機関に特化したグループウェア

様々な医療系業務の連携の要となる Pyxis が持つ多彩な機能

- トップポータル画面はユーザ毎にカスタマイズが可能です。個別に使いやすい設定にすることができます。

<p>電子会議室</p> <p>議題ごとにBBS的にいつでも会議コメントを書き込む事ができ、保存管理が行えます。ビデオ会議の管理、起動を行います。グループウェアを使用していない方も招待でき、患者様との面談にも、転用できます。</p>	<p>会議録</p> <p>議事録の他に押印欄付きで印刷、承認、公開範囲の設定と業務フローにあわせたカスタマイズができます。</p>	<p>当直管理</p> <p>当直者の登録とスケジュール管理、当直者の公開リスト表示も行えます。</p>
<p>メール</p> <p>通常メール、連絡掲示板や開封通知、承認まで広範囲に支援します。</p>	<p>スケジュール</p> <p>個人のスケジュール、部門や病院全体の予定、作成したグループ予定などを同時に表示できます。</p>	<p>お知らせ</p> <p>連絡掲示板で、必要な相手に必要な情報を伝え、そのまま可否確認までできます。</p>
<p>ファイル共有</p> <p>フォルダ作成、ファイル保存、ドキュメント表示などの機能を搭載しています。</p>	<p>設備予約</p> <p>会議室や機器の貸し出しを、カレンダーベースでのスケジュール管理で行えます。</p>	<p>タイムカード</p> <p>勤怠の管理、集計が行え、勤務状況が把握できます。</p>



アトリア
Atria

診療および検査予約システム

施設間をインターネット経由で連携し、外部医療機関からの診療および検査のWEB予約を実現



インターネットでいつでもアクセスできる検査予約表

Atria（アトリア）は連携先の施設の診療予約および検査予約をインターネットで行えるWEB予約システムです。時間指定や枠指定予約に対応しており、施設様ごとで自由な予約枠設定が行えます。

① 時間指定予約および枠指定予約

提携先の医療機関から検査の空き状況をリアルタイムに確認しながら検査予約ができ、電話・FAXなどによる確認の手間が省けます。

② 院内システムとのシームレスな連携

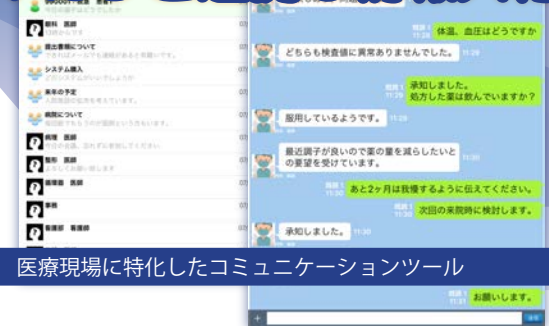
当社のRISシステム等と接続ができ、院外からの予約を院内予約と連携させ、同一リスト画面で管理が行えます。



アストロトーク
Astro Talk

医用SNSサーバ

通常のSNS機能に加え当社統合システムやPACSと連携し情報共有を迅速化



医療現場に特化したコミュニケーションツール

Astro Talk（アストロトーク）はチャット形式で情報のやりとりができる、医療現場に特化したコミュニケーションツールです。手軽に情報交換ができる場を提供します。

① トーク機能

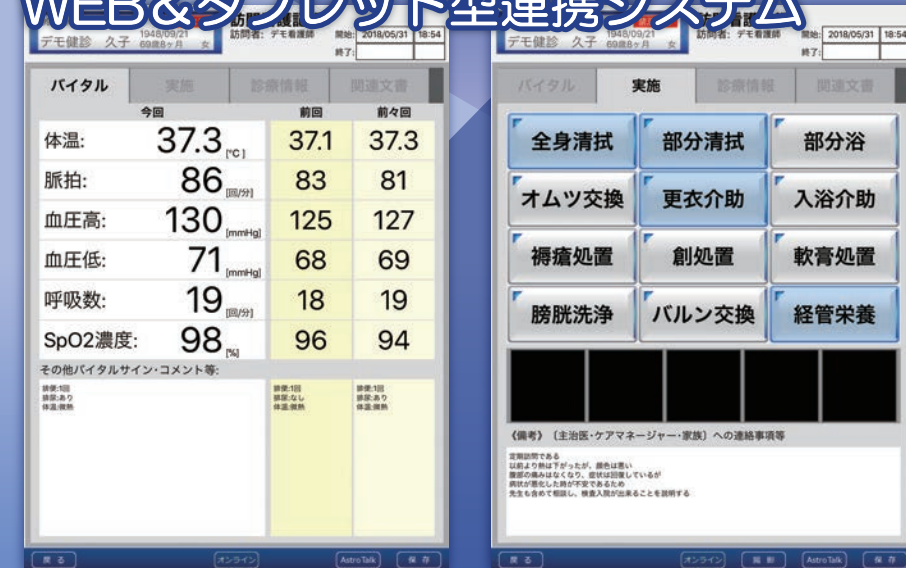
視認性のよいチャット形式で院内外問わず情報の交換が行え、コミュニケーションを円滑にします。

② 統合システムと連携した便利機能

音声・動画・写真・トークなどを当社統合システムに保存することにより、診療情報の共有化が迅速に図れます。



在宅診療の各業務を支援する WEB&タブレット型連携システム



タブレットでバイタルデータ入力

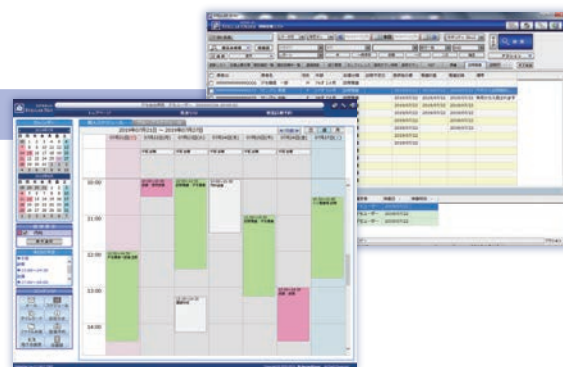
看護実施内容入力サポート

当日の全体スケジュール参照

Iris（イリス）は訪問時に発生する様々な業務を簡素化でき、各記録を簡易操作でシステム連携が行えます。訪問スケジュール機能、看護記録、写真撮影、診療録の参照、メッセージ機能までを網羅したオールインワンシステムです。

① スケジュールと進行管理機能

WEB による訪問スケジュール機能です。担当者毎に当日の全体のスケジュールがいつでも参照できます。また看護指示書、看護計画、訪問時記録などの進捗がリアルタイムで参照できるリスト機能も実装されています。



② タブレットによる看護記録

タブレットによる記録入力をサポートしています。画面タッチでのバイタル入力、看護実施内容、指示内容の参照、状態撮影などまで一連の入力をサポートしています。登録時には過去記録、簡易コピー、状態の撮影なども行えます。

③ SNS ツールにより担当チームへの情報連絡

SNS ツールで患者毎に情報連絡用のメッセージ機能を実装しています。各担当者への連絡から、訪問状況報告・指示確認などタブレットで簡単にやり取りできます。また、STELLAR にてチーム内で診療情報が共有できます。



産業医・保健師が利用する 「従業員の健診データ+健康管理データ」管理システム



検査結果表示

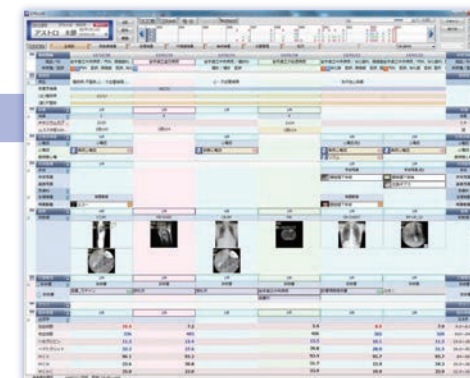
診療 WEB 予約

各種文書入力

Ophiuchus（オフェューカス）はこれまでバラバラに管理されていた社員の健康情報を集約し、健康診断結果やストレスチェック、面談記録や意見書、勤怠などの労務情報をサーバ上で集約し、セキュアに管理することで、より効率的な健康管理を行えるシステムです。

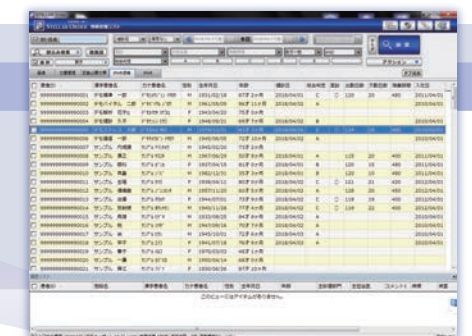
① 労働者の健康管理画面

各種検査の実データや産業医報告書、勤怠報告、労働者の労働時間、ストレスチェック点数などを時系列画面で一括表示します。様々な治療時の診療情報とも連携可能で、ワンクリックで必要なデータの絞り込み表示も行えます。



② 検診結果の表示 + 個人記録

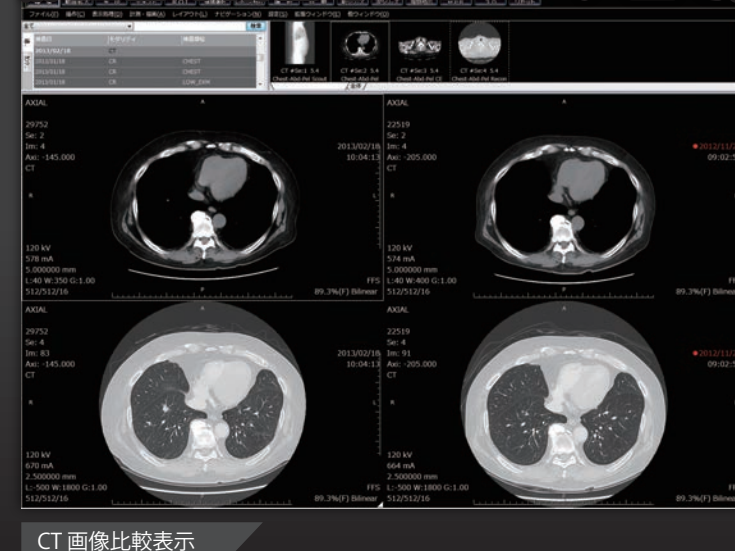
iPHR上に就業情報から検診結果および画像、各種報告書を統合し管理することができます。タイムライン上で経過を表示し、病歴・処方・投薬情報、就業情報（労働時間等）、問診情報、検査結果、巡視記録、各種報告書、スキャンデータや PDF まで一画面で閲覧が可能です。



③ 従業員一覧と指導管理一覧

従業員一覧では、所見や判定をもとに指導の対象者の抽出や管理を行います。指導管理一覧では、面談予定者や過去の面談者などの確認が可能です。面談経過画面での情報も一覧化でき、産業医面談対象者名簿の出力も行えます。

全ての DICOM データに対応し、 静止画も動画も 1 ビューア上で表示



高速・多機能 DICOM システム



販売名：画像参照ビューア Nazca 認証番号：227ADBZX00192000

Nazca（ナスカ）は全ての DICOM 画像に対応した高性能画像システムです。放射線科 PACS だけではなく、循環器、生理、消化器、眼科など他部門システムとしても充実した機能を備えているため、専門ビューアとしても他社を圧巻する機能を有しています。また、静止画像だけでなく動画も同一画面で並べて表示ができます。

放射線画像では、ワンクリックで心胸郭比計測、アンギオ画像の狭窄率 / LVA 計測から骨密度の計測、整形テンプレート挿入や画像編集機能などあり、CT の腹部画像からの脂肪計測機能まで実現します。生理検査画像では、超音波画像の計測機能として、システムに画像を保存後、B モード、D モード、M モードの計測が画面上できます。DICOM SR 連携、計測数値のレポートへの自動反映も対応しています。

① 高速ビューア

データ量の多い検査でも、リアルタイムかつ高速に DICOM 原画をそのまま表示します。連続読影の際にも画像を先読みさせることで Thin Slice 等の膨大な画像データにも対応でき、効率的な業務をサポートします。



② 静止画・動画を 1 画面上で表示

静止画・動画を 1 画面上で表示できます。マルチベンダー対応で全 DICOM 画像を同一のビューアで表示可能なため放射線・循環器・生理・内視鏡・眼底などを閲覧する際にビューアの切り替えが不要です。



③ ニーズに併せた便利機能

自社開発の為、ニーズに合わせた便利機能を随時追加しております。ビューア上にレポートアイコンを配置しレポート画面の起動など、常用する機能をキーボードに割り付けでき、サムネイルサイズ変更などユーザ・端末別に設定ができます。

④ 3D ボリュームレンダリング

院内のどの端末からでも、リアルタイムに 3D 画像作成および参照ができます。MIP / MPR / スラブ MIP / オブリーク画像、テンプレートまでサポートします。

⑤ 豊富な診療支援機能

医師の診察を様々な角度から支援する
Nazca に搭載された利便性の高い機能





電子カルテや医用画像機器と連携し、 放射線部門における様々な検査業務をサポートするシステム



オーダー管理、検査予約、放射線科受付、実施入力、集計、帳票管理と幅広く支援

Nazca RIS（ナスカ RIS）は、柔軟な画面レイアウトと接続インターフェースから様々な業務フローに対応可能な RIS です。検査業務を効率に行うために必要な情報と連携し、それらを見やすいように配置・表示します。当社 STELLAR と連携することで他社システムでは難しい様々な情報へのアクセスを実現します。オプションとして被ばく線量管理システム（Sagittarius）を追加することで被ばく線量管理をサポートします。

① オーダー管理だけではなく PACS や他部門の情報連携

電子カルテなどと連携し、患者情報・オーダー情報を受け取り、検査オーダーの受付・実施・会計情報の送信といった、放射線部門での一連の業務に必要な機能を提供します。また、患者の放射線部門以外の他検査情報を表示したい場合、他社システムからオーダー連携で柔軟に対応できるシステム拡張が可能です。



② 様々な運用フローに合わせた受付画面

連携データをリスト表示ができ、幅や並び順などのレイアウトを端末毎に保存できます。また、検査の実施ステータスでのリスト絞り込みや選択患者の当日の他検査一覧の表示、リスト上へコメントの直接入力が可能です。

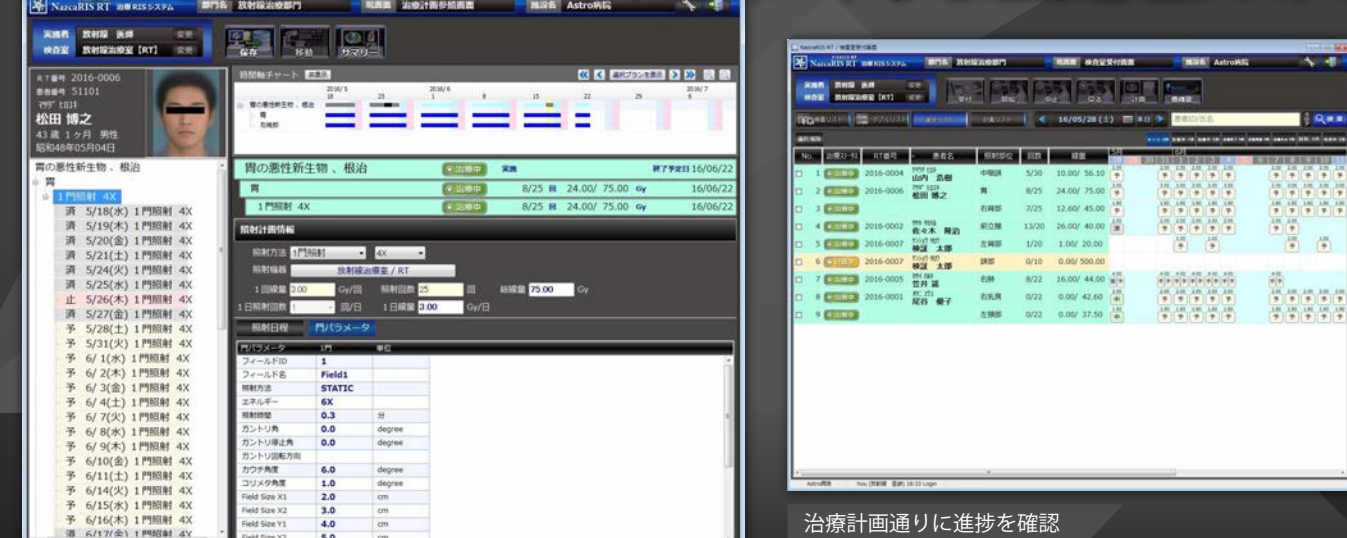


③ 機器の日常点検・定期点検・修理の記録

点検などの記録を機器毎、部屋毎に管理ができ、ペーパーレス化を図れます。機器情報や修理履歴に加えて、装置設置時の写真や取扱説明書などを電子データで保存・管理することも可能です。



放射線治療情報を一元管理し、治療計画の作成から チャート表示などトータルにサポートする治療管理システム



治療計画の階層レベルに合わせた計画画面

治療計画通りに進捗を確認

Nazca RIS RT（ナスカ RIS RT）は放射線治療業務に対応した多彩なレイアウトを持つ治療 RIS です。照射業務の効率化を追求し、リニアック装置および治療計画装置、オーダーリングと連携して、治療計画の作成から計画チャート表示、プラン単位 / 原発がん単位での表示までをサポートします。当社の NazcaRIS、STELLAR とも連携でき、患者の治療情報の共有化が図れます。

① 治療計画の階層レベルに合わせた計画画面

計画画面では治療計画の階層レベルに応じて、原発癌、部位、フィールド、照射オーダーそれぞれの情報の体系的な表示が可能です。

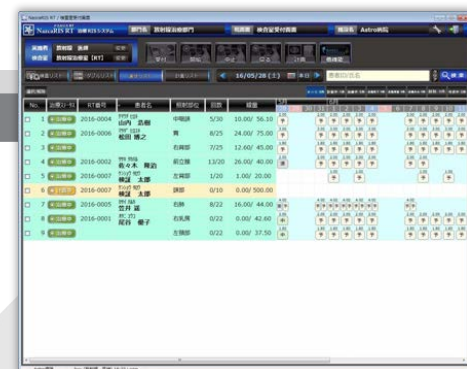


② 受付から報告書・統計までサポート

通常のオーダー情報から治療特有の初回照射フラグ、回数・総量、RT 番号の確認ができます。さらに放射線治療報告書や看護記録の作成、治療統計まで総合的にカバーしています。

③ 治療計画単位で確認できる進捗リスト

進捗リストは治療計画単位で 30 日間をカレンダー表示し、照射オーダーを時系列で確認することができます。ステータスアイコン上に 1 日線量も表示し、画面上でステータスアイコンのドラッグ&ドロップにより照射日程の移動も可能です。





カーディオ・ピクター

Cardio Pictor

循環器ネットワークシステム

循環器部門の動画から CT 等の放射線画像・
レポート・カテ台帳などトータルのサポート



様々なレイアウトが可能なカテ台帳

Cardio Pictor（カーディオ・ピクター）は院内全ての端末で動画表示、台帳入力、統合参照まで実現する次世代の循環器ネットワークシステムです。従来の心カテ画像、心エコー、ポリグラフ、IVUS の動画だけでなく、CT、一般撮影等の放射線科画像、3D 画像までを 1 システム内でサポートします。

① 循環器部門システムに RIS 機能を追加

動画像（アンギオ・超音波）の表示やカテ台帳の入力機能に加え、上位システムと連携した患者情報・オーダ受信・検査実施結果の返信、材料などのマスタ連携をサポートします。

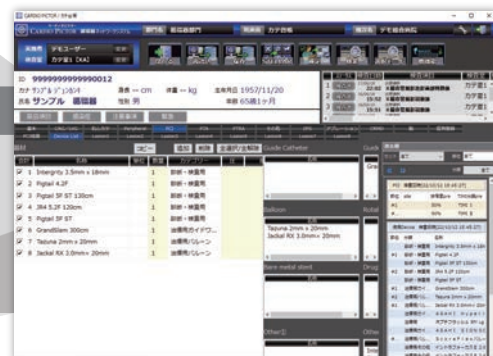


③ カンファレンスと医用物品管理

生理検査など部門を問わず直感的に必要なデータを選択しカンファレンスを行えます。また実施中に使用した医用物品は使用する際にバーコードを読み込み自動で登録。数量入力を行うと、実施後に自動でコストを上位へ返却できます。

② 看護記録をサポート

処置室での看護ケア内容の経時記録を作成できます。改版履歴も残すことができるので、更新ごとの記録内容を確認することが可能です。バーコードで読み込まれた使用材料は、カテ台帳や RIS に自動反映されます。

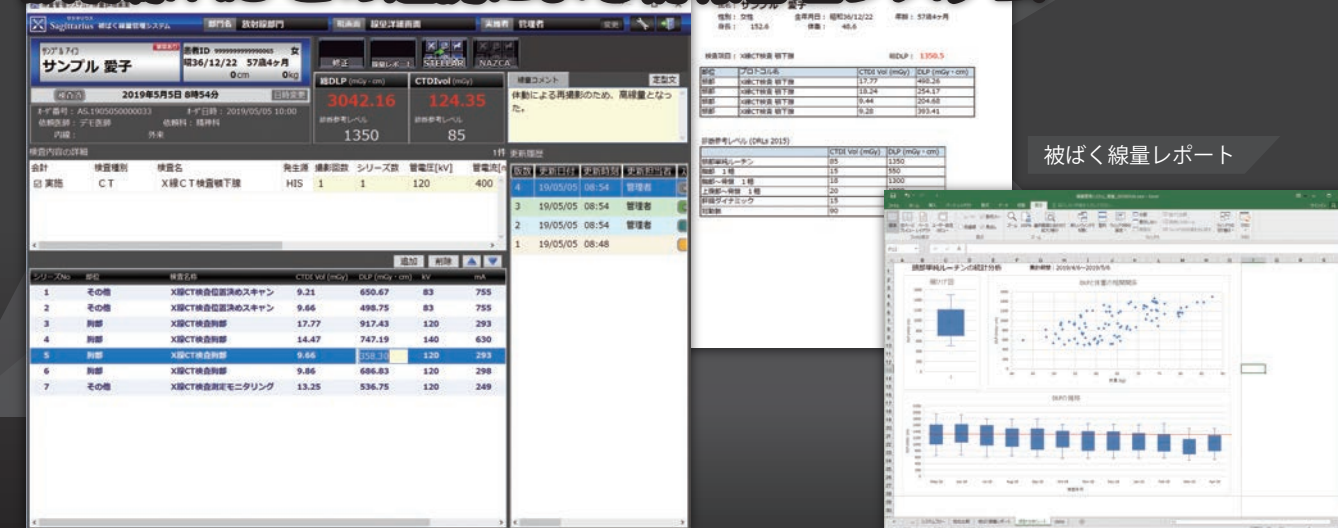


サジタリウス

Sagittarius

被ばく線量管理システム

RDSR に対応した線量情報収集と
放射線 RIS との連携による情報管理システム



線量詳細画面

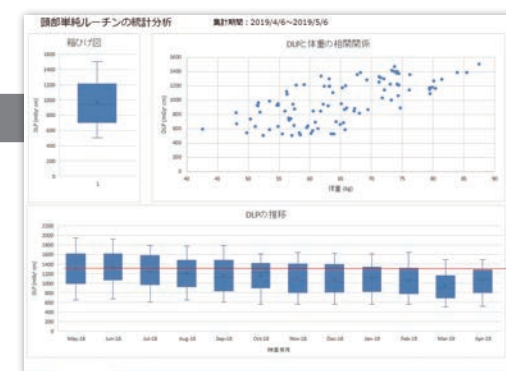
被ばく線量レポート

エクセル統計出力

Sagittarius（サジタリウス）は撮影装置から被ばく線量情報を取得し記録する被ばく線量管理システムです。機器視点でのリスト機能から、患者毎の被ばく線量予想、担当技師毎のリストまで広い範囲をサポートします。任意の条件で線量統計を分析、線量の最適化が可能です。また、検査進捗と並行で照射記録およびアラート表示まで行えます。

① 線量の超過管理

総 DLP、最大 CTDIvol の値を表示し、診断参考レベルを超過した場合は赤字で表示されます。詳細情報は画面下部に表示され、患者毎の被ばく予想・管理をサポートします。



③ 機器分析や統計出力

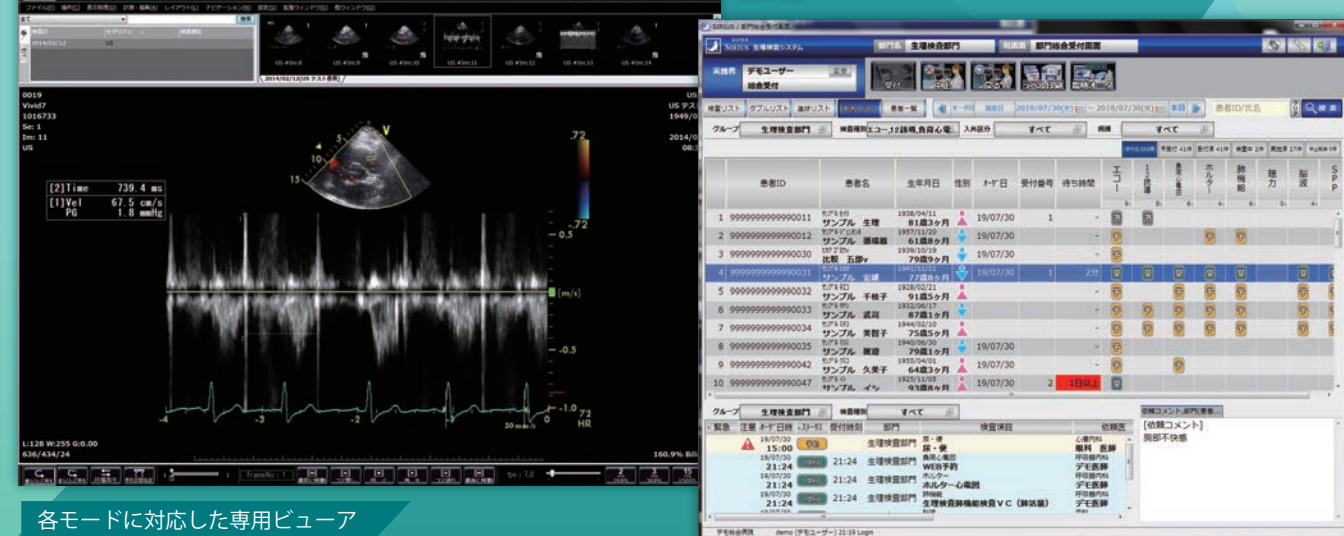
C アームの角度毎の線量などモダリティから取得した数値で統計・分析ができます。また、検査項目や担当者、依頼科など任意の条件で線量情報を表示し、簡単にエクセル統計出力ができます。

② 用途に応じたレポート作成

レポートは施設ごとにカスタマイズが可能です。同じ線量情報を出す場合でも複数のレポートから選択できるため、患者向けのレポートから統計分析用など用途に応じて作成できます。



エコー画像、心エコーの動画の管理から
SR 対応の構造化レポートまで対応



各モードに対応した専用ビューア

あらゆる生理検査を網羅

Sirius（シリウス）は多彩な検査が存在する生理部門をトータルに管理する生理検査システムです。電子カルテと各種検査機器を接続し、患者情報や検査オーダーを受け取り、受付から検査結果の電子カルテへの返信まで対応します。生理検査機能において必要な情報を表示し、検査結果を統合的に管理します。

① 生理検査以外の他検査オーダを確認

検体検査・内視鏡検査・放射線検査などの他検査のオーダ状況を把握できます。生理検査室の患者様の受付状態や進捗管理だけでなく、関連する検査まで把握することで患者様の誘導がフレキシブルに対応できます。



② 専用画像ビューアと機能連携

専用画像ビューアは、通常のエコー画像から心エコーなどの動画まで対応、自由な表示レイアウトが可能です。ビューア上でBモード、Mモード、Dモード計測機能までサポートし、計測数値はレポートに自動で反映できます。

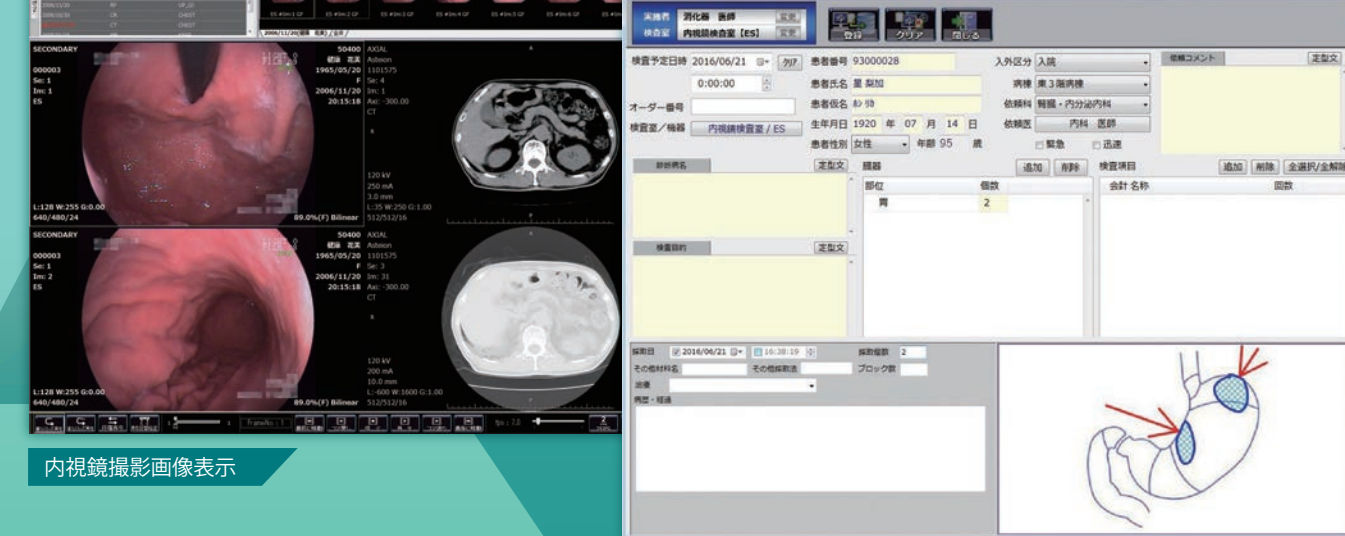


③ 波形、数値データの取り込み

心電図は連携すると MFER 形式で波形の取込ができます。複数の違うメーカーの波形を並べて表示もでき、各種計測機能まで実装されています。肺機能の数値、検体検査の数値、関連文書までデータを統合的に管理できます。



検査の患者一覧表示、検査の進捗管理、
洗浄管理やレポートは JED に対応



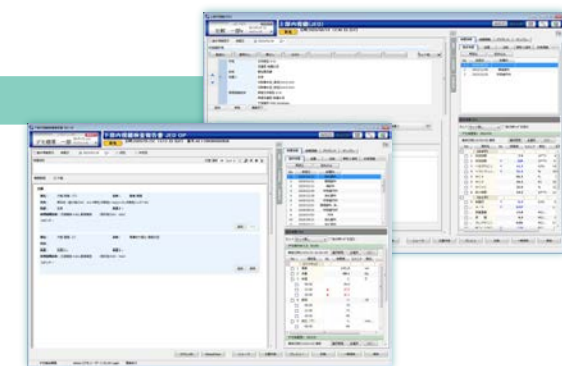
内視鏡撮影画像表示

内視鏡室オーダ対応

Aquila（アクイラ）は内視鏡の検査予約から当日の受付、実施までを一元管理できる内視鏡検査システムです。統計システムや使用スコープの洗浄管理機能、内視鏡専用のレポート機能までをサポートします。内視鏡キャプチャを追加し DICOM 化も可能です。

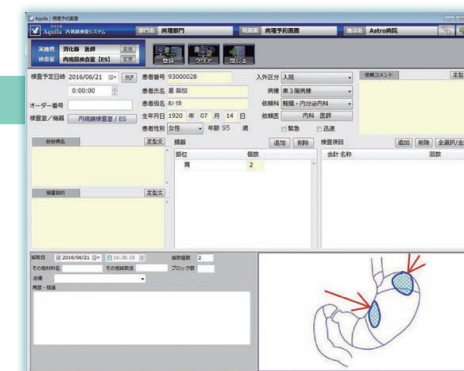
① 構造化レポートを複数用意

ビューアから画像をそのまま貼り付け、CF、GF その他検査の専用フォームを自由に変えられます。レポートには統計項目を設定でき、専門台帳への転記、および統計システムへの連携が可能です。JED レポート作成にも対応しています。



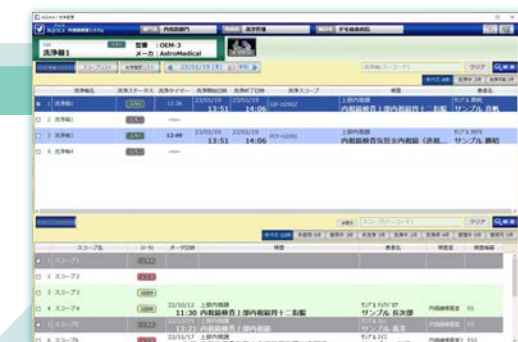
② 病理へのオーダも可能

内視鏡室のオーダは受付システム上で管理および受付ができます。病理オーダの作成も可能で、当社病理システム Castor（カストル）へのオーダだけでなく、他社の病理システムとも連携することができます。



③ 洗浄管理で日々の業務をサポート

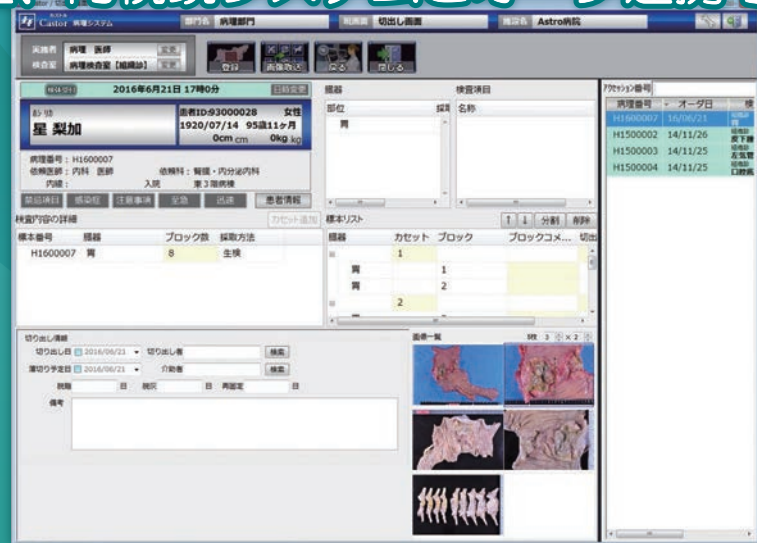
洗浄管理システムでは検査に使用するスコープをあらかじめシステムへ登録する事で、スコープの洗浄記録から検査履歴および修理履歴までをシステム上で管理でき、日々の業務をサポートします。



病理検査の検体受付から診断まで全てバーコード運用可能、
既読管理、薬品の在庫管理、内視鏡システムとオーダ連携可能



組織診、細胞診、解剖と分類された病理ランチャー

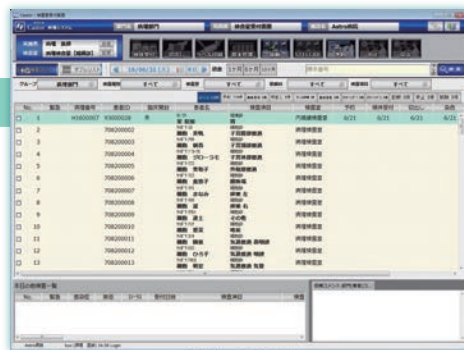


病理検査の各種段階に応じたシステム対応

Castor（カストル）は各予約受付から各種の組織、細胞、病理の進捗状況をリアルタイムに表示する病理システムです。受付一覧および既往歴、病例検索、標本管理、貸出機能まで実装し、標本切出しからスクリーニング、診断までの一貫がシステム上で管理できます。

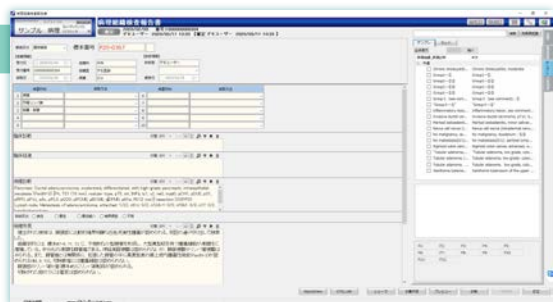
① 全体リスト画面から進捗をリアルタイムに表示

診断作業中の追加切出しや追加染色指示も簡単にできます。内視鏡システムから病理オーダの発行ができます。（他社内視鏡システムとの連携可）また、免疫組織科学染色や遺伝子検査の追加医事会計情報の電子カルテ連携が可能です。



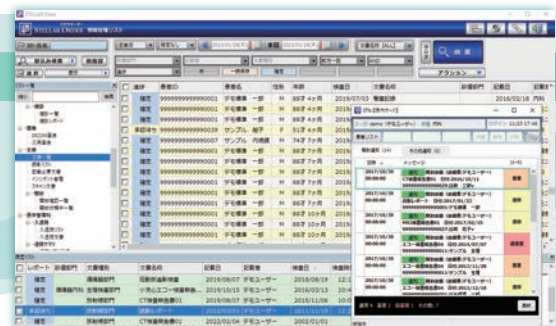
② 一次・二次・最終報告の診断ステータス表示

組織診断、細胞診断ともに一次診断から最終診断までのステータスに応じたレポートに対応しています。取扱規約のテンプレート対応、細胞診検体の適否やクラス判定・ベセスダ判定など、プルダウンで選択可能です。

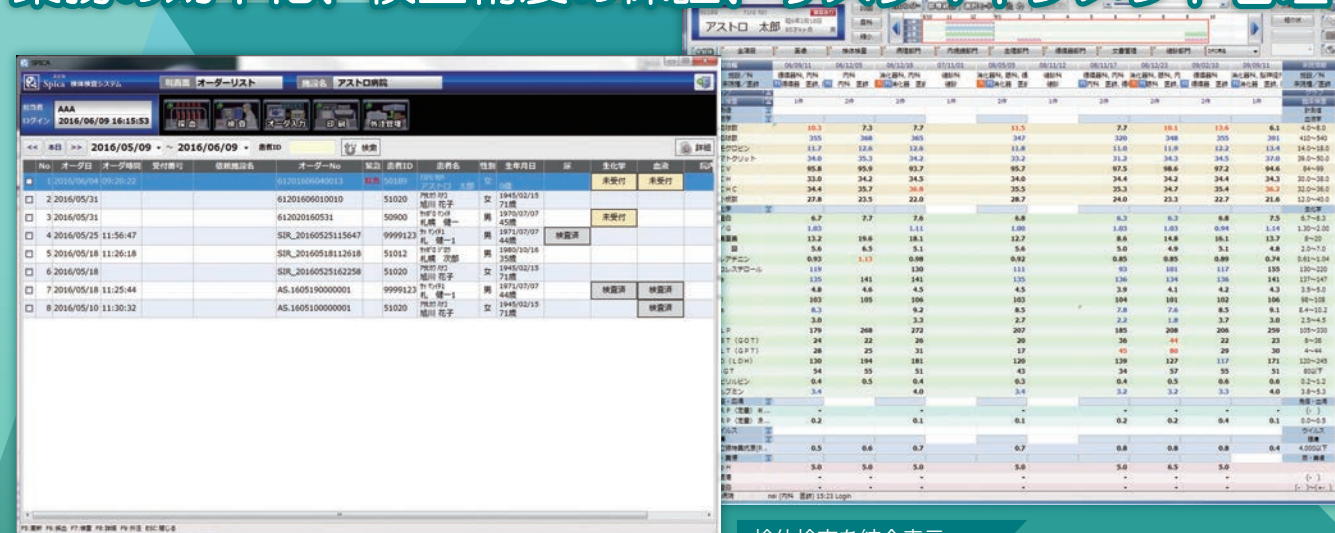


③ 重要度に応じた既読管理機能

レポートの既読通知は依頼医・主治医・診療科部長など、複数の医師へ設定可能です。通常・重要・最重要のステータス別に通知できます。電子カルテと連携し、未読レポートの開封はポップアップ機能で通知できます。



今求められているソリューションを提供、
業務の効率化、検査精度の保証、リスクマネジメント管理



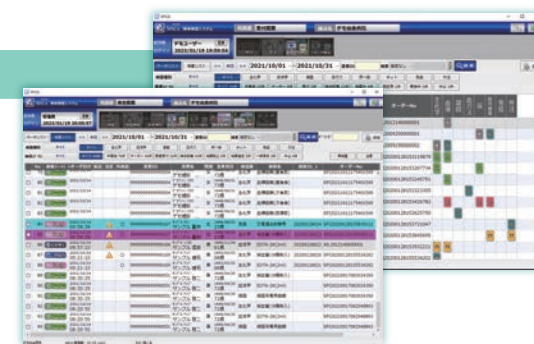
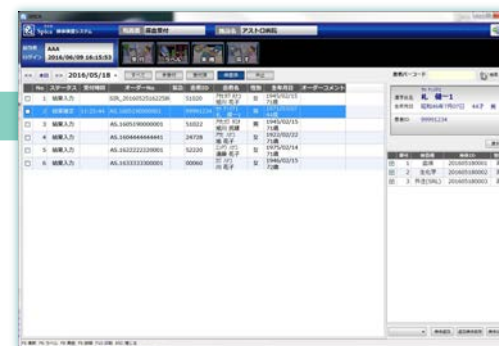
検体検査に特化したシステム

検体検査を統合表示

Spica（スピカ）は検体受付から結果報告までの進捗状況やTAT管理、検査室のボトルネックである採血待ち時間もリアルタイムでグラフィカルに表示できます。機器のエラーやパニック値、前回値との剥離データなどはアラート機能によるリスクマネジメント機能で管理します。また、基準値の変更や計算式の設定など、オンサイトやリモートで対応します。

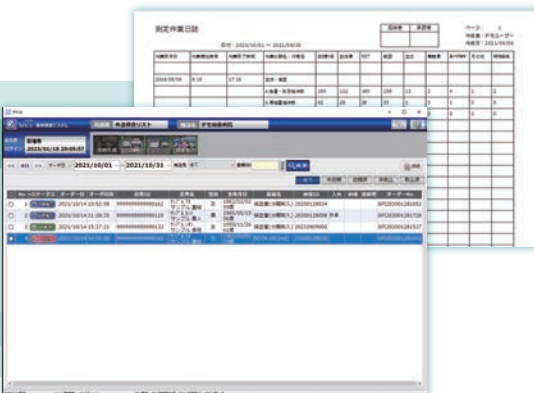
① リスクマネジメントにおけるアラート表示

パニック値、異常値、前回値との剥離や分析機器エラー、報告遅延などは背景色がカラー表示され、注意フラグにマウスをあてると確認できます。



② 院内のみならず外注検査も統合管理

院内検査だけでなく、外注検査も同一システム上に取り込み、時系列ビューで経時的に比較ができます。グラフィカル表示にも対応しています。



③ 試薬在庫管理・機器点検・標準作業書の作成管理まで実装

同一システム内で試薬管理、機器点検、標準作業書管理ができます。試薬はLot No/有効期限等、バーコードによる入出庫にも対応しています。検査機器の始業時、終業時等の日常点検や標準作業書の作成・管理ができます。

出張健診現場での検査、バイタル、DICOM 画像までサポートした健診結果の情報収集システム



DICOM 画像も収集可能



身長: 170.2 cm, 体重: 58.20 kg, 血圧: 110/70 mmHg, 脈拍: 72 bpm, SpO2: 98%, 体温: 36.5°C, 尿色: 正常, 尿量: 100 ml, 尿糖: (-), 尿蛋白: (-), 尿潜血: (-), 尿胆原: (+), 尿胆红素: (-), 尿酮体: (-), 尿pH: 7.2, 尿比重: 1.020, 尿色: 正常, 尿量: 100 ml, 尿糖: (-), 尿蛋白: (-), 尿潜血: (-), 尿胆原: (+), 尿胆红素: (-), 尿酮体: (-), 尿pH: 7.2, 尿比重: 1.020

手軽なタブレット入力

Rigel（リゲル）は予約管理、各ブースでの検査実施状況や受検者の検査結果の収集など巡回健診を支援するシステムです。Wi-Fi などの無線端末で過去履歴の参照、検査結果の収集までトータルにサポートし、巡回健診でも施設内健診と変わらない精度と利便性を実現します。

① 予約管理から集計までサポート

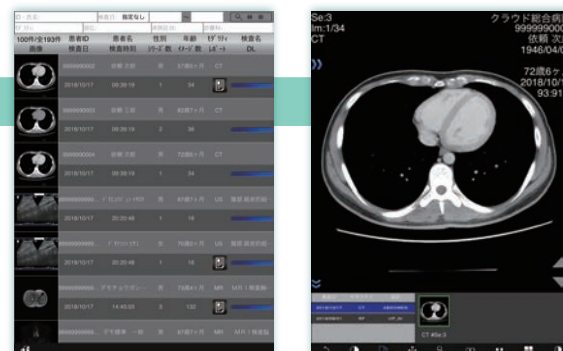
予約から受付・実施・集計までを一元管理でき、エスコート機能による受診者の検査進捗状況を即座に把握し、健診検査業務の効率化を図れます。また、健診機器から自動でデータ収集が可能のため、入力や計測ミスなどを削減できます。




身長: 170.2 cm, 体重: 58.20 kg, 血圧: 110/70 mmHg, 脈拍: 72 bpm, SpO2: 98%, 体温: 36.5°C, 尿色: 正常, 尿量: 100 ml, 尿糖: (-), 尿蛋白: (-), 尿潜血: (-), 尿胆原: (+), 尿胆红素: (-), 尿酮体: (-), 尿pH: 7.2, 尿比重: 1.020

② 巡回健診でも施設内健診と同じ精度

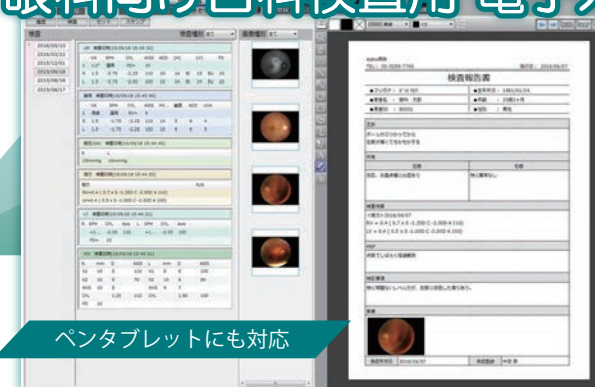
検査機器からのデータ自動収集、モダリティとの MWM・画像受信が可能で、施設内でアップロードも簡単に操作することができます。また、巡回健診でも精度の高いデータ収集が可能です。



③ DICOM まで含めた全ての機器の対応

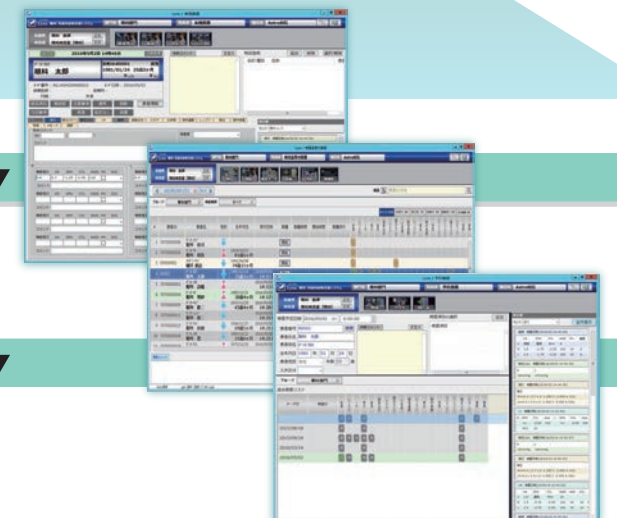
バイタルや検査情報の他に、心電図波形（MFER）、検査画像、DICOM 画像なども含めて健診にまつわるデータは全て収集可能です。帰後は院内サーバと連携し、DICOM、検査、波形、計測数値を全てサーバで管理できます。

眼科向け自科検査用 電子カルテシステム



ペンタブレットにも対応

Lynx（リンクス）は自科検査用の電子カルテシステムです。検査の予約管理から、当日の受付業務、検査結果の取込みまでを自動化できます。またカルテ入力は様々な入力インターフェイスを用意し、ユーザの要望にマッチした診断フローを実現します。



① 受付、実施、予約管理までをサポート

予約から受付、実施までの管理を 1 画面で行います。各検査機器から自動で値を取得でき、バーコードにも対応しています。

② 様々なカルテ入力画面をサポート

カルテは眼科検査に特化した様々な入力フォームを用意しています。ペンタブレットにも対応しており、施設毎に合わせた柔軟なフォームで施設に即した診療が行えます。

耳鼻咽喉科に特化した電子カルテシステム



耳鼻科検査に対応

Silenus（シレノス）は耳鼻科に特化した電子カルテシステムです。耳鼻科専用のレポートフォームを備え、聴力検査に必要なグラフも各種取り揃えています。



① 耳鼻科向け専用レポートフォーム

耳鼻科検査用に専用のレポートフォームで報告書を作成でき、耳鼻科向けのシェーマの利用も可能です。

② 豊富なグラフバリエーション

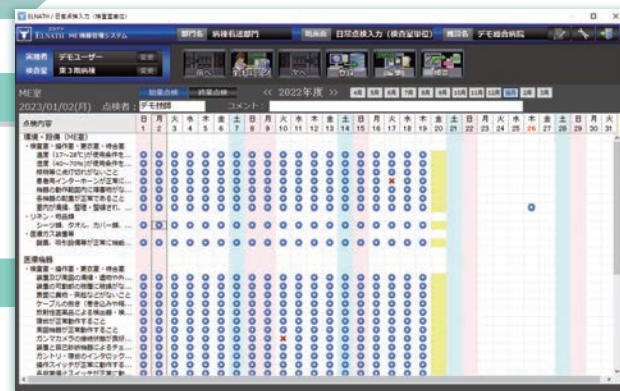
各種聴力検査に対応できるグラフバリエーションを多数取り揃えています。

ME室の点検・修理・貸出管理から各部門で行われる日常点検まで幅広く対応する医療機器管理システム



ドラッグ＆ドロップで機器の貸し出し管理が可能

Elnath（エルナト）は施設内で使用する機器のMWM連携から資産情報の設定まで機器の情報を一元管理できます。ME部門が存在しない施設での運用も想定し、汎用的な日常点検・定期点検・修理・貸出管理の機能を提供します。



① ME 機器管理

マップ上にドラッグ＆ドロップで貸出設定ができ、場所、期間、患者情報の登録が可能です。

② 点検機能

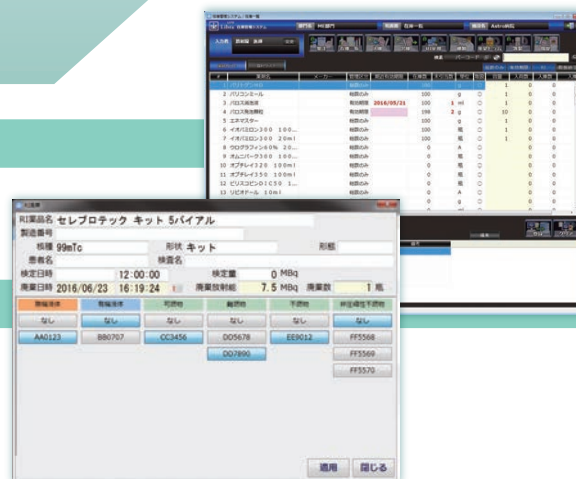
点検や記録の情報は、カレンダー方式で視覚的に分かりやすく管理できます。また、点検入力画面では検査室、機器毎に点検項目をカスタマイズできます。

薬剤や機材の発注、入庫、出庫、棚卸、廃棄などの管理をサポートする在庫管理システム



在庫の一覧を表示

Libra（リブラ）は薬剤または機材の在庫管理が行える在庫管理システムです。発注、入庫、出庫、棚卸、廃棄のサポートからバーコード連携までを実装し、ユーザの日々の在庫管理業務をフォローします。



① 薬剤や機器の在庫管理

試薬などの管理から、各種機器の管理、RI薬剤管理まで可能です。RIでは発注画面から廃棄ドラムまで管理できます。

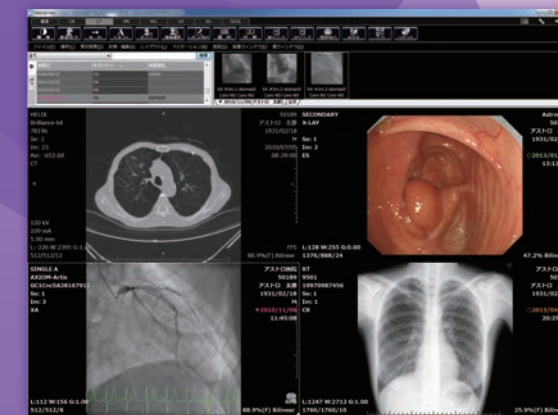
② RI 薬剤の廃棄機能

アイソトープ協会の指定する書式のExcelでRI廃棄物記録票が作成できます。廃棄ドラムの入手からRI薬剤の使用、院内での保管廃棄（封缶）回収の依頼、廃棄ドラムの引き渡しまでをサポートします。

タッチパネルによる機器操作とMWM接続による患者属性連携にて内視鏡、超音波検査の実施をアシスト



リアルタイムで撮影画像を表示



一体型システムとしての運用

ARK Gate（アークゲート）は内視鏡・超音波装置などでDICOM未対応機器のための画像キャプチャーシステムです。アナログ信号から画像をビデオキャプチャーし、DICOM変換後PACSに送信します。DICOM MWM接続にて患者属性を取得することが可能であり、検査時に患者情報を手入力する手間やミスを無くすることができます。

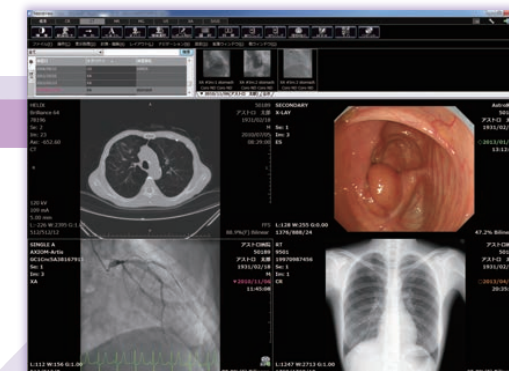
① 検査情報の自動入力機能

検査に必要な情報はレセコンやオーダーリングから自動取得する事で、検査時の入力ミスを排除し、検査を効率的に進められます。



② 撮影時のリアルタイムモニタ

撮影画像を検査をしながらリアルタイムにチェックできます。また、スコープのシャッターは、トリガースイッチと連動でき、検査後に必要な画像の選択・保存も可能です。



③ コントロールシステムの導入

コントロールシステムを導入すれば、電子カルテとの連携や部門画像サーバ、画像ビューアまでの一体的なシステムとして運用する事ができ、撮影画像の一時保存及びビューア参照などが可能となります。



エースフォト

Ace Photo

タブレット画像撮影ソフト

診断を支援するタブレット用撮影ソフト



タブレット用医用撮影ソフト

Ace Photo（エースフォト）は医療現場において診察の助けとなるカメラ機能を備えた、タブレット画像撮影ソフトです。患者情報と共に検査種別を、撮影した画像や動画に付与して、診療情報統合システム STELLAR（ステラ）の時系列に検査として送信が可能です。



① 検査登録

新規に診察を行う患者の情報と検査種別の登録ができます。患者はバーコードを利用して検索することも可能です。

② 撮影機能

診療記録として撮影した画像や動画を送信し、経過記録としても STELLAR（ステラ）の時系列に登録することができます。また、アルバムからも送信することが可能です。

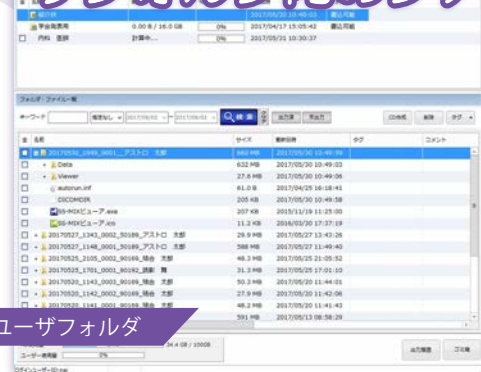


アントリア

Antlia

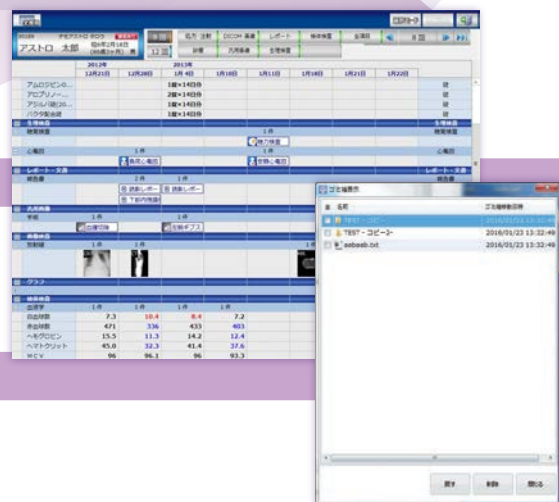
ユーザフォルダ

ユーザフォルダ内のファイルの整理整頓・管理



ユーザフォルダ

Antlia（アントリア）はファイルの作成、削除、ダウンロードからフォルダの使用の開始・停止までを支援します。STELLAR（ステラ）から選択した検査などをユーザーフォルダで保存し、別ストレージへ保存したり CD に焼くこともできます。



① ユーザ検索

キーワード検索、容量検索の2種類があり、キーワード検索ではユーザID、ユーザ名、ユーザかな名、作成日付、更新日付に含まれているものを検索します。

② ユーザフォルダ・ファイル操作

フォルダ内のファイルは保存先を選択するか、ドラッグ＆ドロップでダウンロードすることができます。

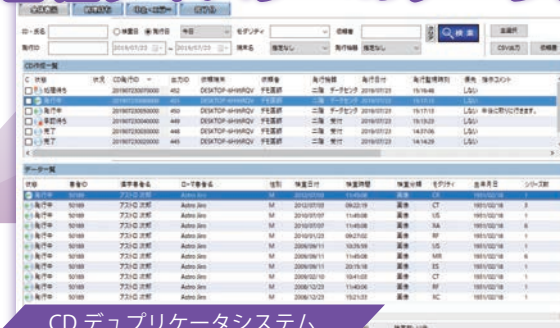


エースライター

Ace Writer

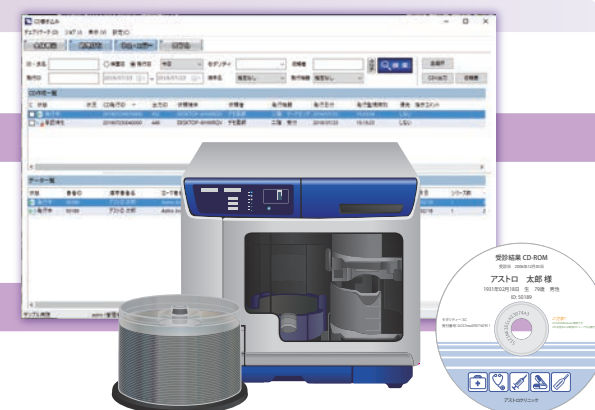
CDデュプリケータシステム

各種ディスクへのデータ出力を実現



CDデュプリケータシステム

Ace Writer（エースライター）は CD や DVD、BD へのデータの出力からラベル印刷の手配までできる CD デュプリケータシステムです。出力依頼 XML の情報をもとに CD 作成が行え、作成ジョブ確認画面で状況の確認やジョブの操作が可能です。また、複数デュプリケータ自動割り振り機能を使えば、ユーザ側で仕事量を比較してデュプリケータ機器を指定することなく、均等に CD 出力を行うことができ便利です。



① データ出力

DICOM の PDI 出力だけではなく当社の STELLAR と連携し、DICOM・レポート・検査数値・JPEG などの選択したデータをマトリックスビューア付で CD 作成が可能です。

② ラベル印刷機能

患者名、ID、出力先施設など連携された情報は、デザインした CD ラベルに印刷する事ができます。

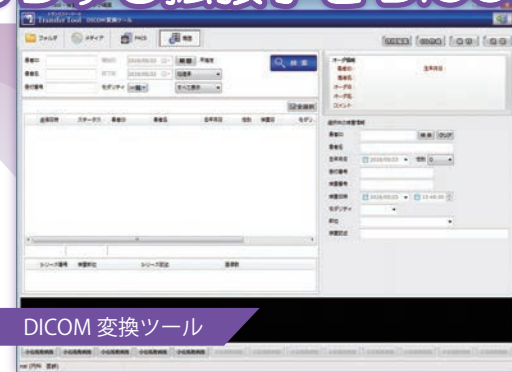


トランスファーツール

Transfer Tool

DICOM変換ツール

あらゆる拡張子をDICOM変換



DICOM変換ツール

Transfer Tool（トランスファーツール）は JPEG、BMP といった画像フォーマットを DICOM 変換することができ、タグの編集、画像やシリーズの再編集、DICOM 送信、CD 作成などが可能な DICOM 変換ツールです。



① タグ編集やDICOM保存・送信をサポート

フォルダやメディア（CD等）、PACSサーバから検査を取込んで、メディアへの書き込みやPACSサーバへの送信、PCへの保存を行えます。取込んだ画像の再構成・タグ情報の編集なども可能です。

② ドキュメント取込機能

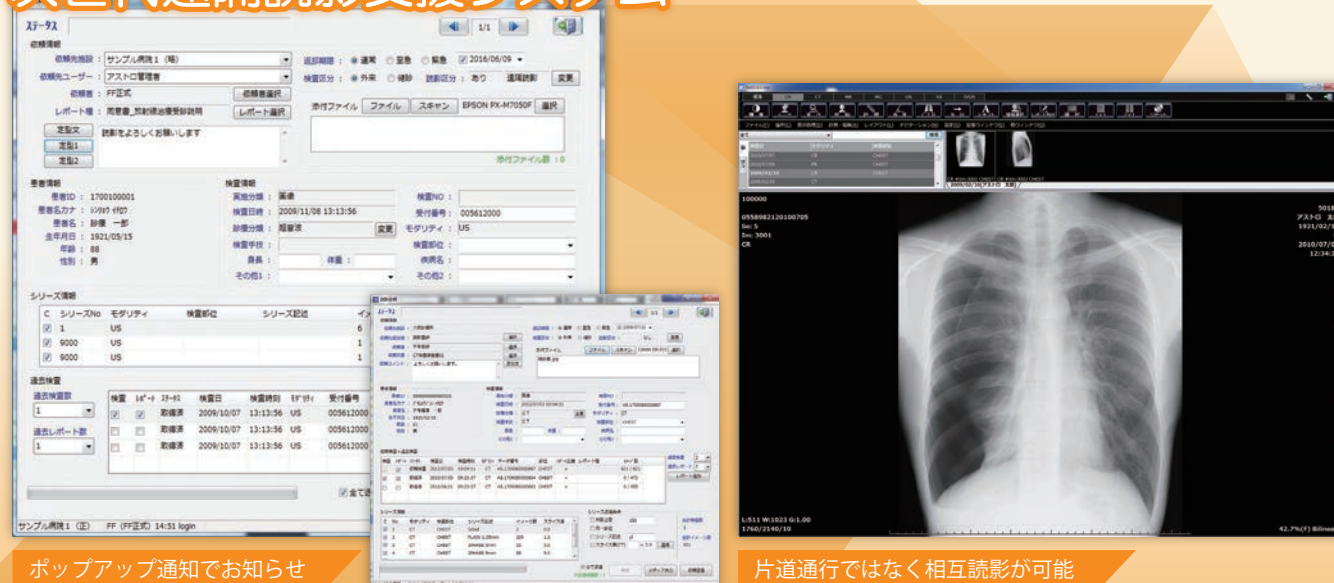
スキャナからドキュメントを読み込み、診療情報統合システム STELLAR（ステラ）に取り込むことができます。



ミラス・アルファ

MIRAS α

遠隔読影支援システム

様々な施設に合せた依頼機能を3パターン搭載する
次世代遠隔読影支援システム

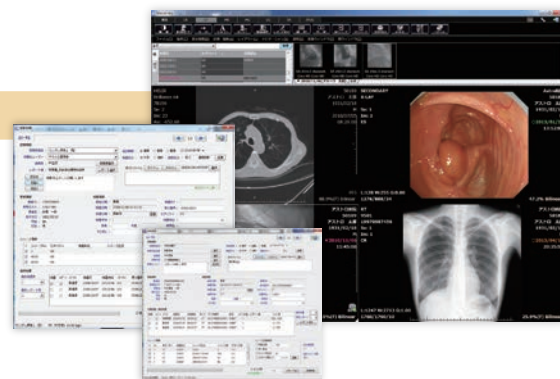
ポップアップ通知でお知らせ

片道通行ではなく相互読影が可能

MIRAS α (ミラス・アルファ) は院内の画像システムとシームレスに連携する遠隔読影支援システムです。セキュリティ面に優れているデータセンターにて画像を保管しており、ユーザに負担の少ない読影診断支援サービスを提供します。

① 読影依頼

一方向のみの読影依頼ではなく、両施設から自由に依頼を出せる相互読影が行えます。相手先のPCへポップアップ通知から相手先のプリンタへ自動印刷まで多彩な機能を搭載しています。

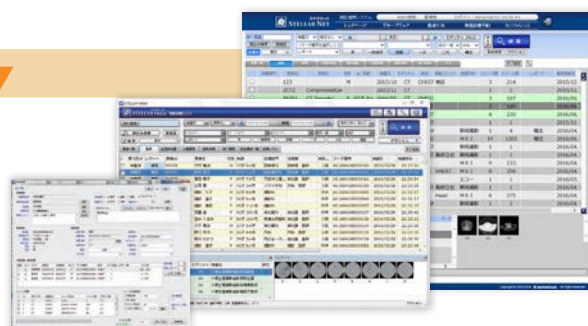


② 遠隔先の読影

画像連携だけでなく、レポートデータの連携まで可能となり、過去画像、過去レポートも自動配信できます。オーダー情報もレポートの依頼データとして網羅しています。高性能読影レポートは、テンプレート設定ができ、所見・診断等の項目毎に分類化ができます。

③ 3種の読影連携

WEB画面版、専用アプリ版、簡易モジュール版と用途や状況、使用頻度に応じて、3種の読影連携方式を使用することが可能です。さらにUSBを使用した読影にも対応します。

Let's take the next
step with us

Offices

2024年8月1日(現在)

Head Office

東京本社

東京都千代田区神田司町 2-8-1
PMO 神田司町5F 〒101-0048
TEL 03-5289-7740
FAX 03-5289-7742



Branch Office

札幌支社

北海道札幌市中央区北1条西3-2
井門札幌ビル 10F 〒060-0001
TEL 011-208-6980
FAX 011-208-6977



Branches

岩手支店

岩手県盛岡市盛岡駅前通 15-19
盛岡フコク生命ビル 5F 〒020-0034
TEL 019-629-2221
FAX 019-629-2222



仙台支店

宮城県仙台市青葉区花京院 1-1-6
EVER-i 仙台駅前ビル 501 〒980-0013
TEL 022-217-0506
FAX 022-217-0507



大阪支店

大阪府大阪市淀川区宮原 4-3-39
大広新大阪ビル 3F 〒532-0003
TEL 06-6398-5200
FAX 06-6398-5225



愛媛支店

愛媛県松山市花園町 3-21
朝日生命松山南堀端ビル 10F 〒790-0005
TEL 089-987-6102
FAX 089-987-6103



福岡支店

福岡県福岡市博多区博多駅南 1-3-6
第3博多偕成ビル 406 〒812-0016
TEL 092-418-3020
FAX 092-418-3021



鹿児島支店

鹿児島県鹿児島市加治屋町 15-9
大同生命鹿児島ビル 102 〒892-0846
TEL 099-216-8368
FAX 099-216-8369



Affiliate Company

株式会社アストロソリューションズ

東京都千代田区神田司町 2-8-1
PMO 神田司町5F 〒101-0048
TEL 03-5289-7740
FAX 03-5289-7742